



勸高局事務章程
取調子付訣書ノ内
佛國農高務省及其他

1634



414
A 500



佛國農務商務省職制

○農商卿 志人

○職掌及權限

全國統計。農事一切。農學校。馬醫學校。及馬飼事務。管農地券。農業勸獎。農事扶助。埋地事務。百穀事務。牧馬地管轄。內地商事上法律及規則ヲ制定スル事。百工法度制定ノ事。製造所一切ノ規律ヲ草定スル事。匿名高社一切ノ事務ノ宗除ニ干渉スル。般事務。工藝學校管理。勸業博覽會。老養貯蓄金庫ノ事務。預金^諸取扱事務。諸製造所ニ入りテ工業ヲ修行スル子弟ニ付職業規則ヲ施行スル事。○營生警察。溫泉場取締。尺度衡量。管注。稅關規則ヲ考按スル事。○稅則公表ヲ草案スル事。○通商條約ヲ考按スル事。○^{原語}浦振場^{ヲ云フ}管理。○商和貯蓄會之事務。○^{原語}注海^ノ獵。○海外通商一切之事件。○自國ト外國ト貿易上ニ干渉スル

二

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

諸般文書ヲ公布スル事

七局

○省卿、直付書記官

○該書記官、職掌

公信ヲ開封スル、權○公信記載○公信ノ分賦○省卿、特別通信ヲ管轄スル、○應接請求ヲ取扱事○樞密事務ヲ年理スル、○官報ニ干渉スル事務一切ヲ辨理スル事○電信通書ヲ理務、事

中局

○大書記官

○該官、職掌

○參議院ト本省ト、間往復事務ヲ司トル○中央政府ニ在職セル諸書記官ト往復スル事

本省書記局

○局長

○該長職務

本省、諸官則チ課長及僚屬ヲ進退スル事○給事及仕丁ヲ整理スル事○勲賞局ヘ持命及昇位ヲ取扱フ事○外國賞牌ヲ發給スル事○退隱祿制規ヲ保治スル事○大統領、印証ヲ請求スル公文ヲ取扱フ事○法案、布達案其他ノ公書一切ヲ民撰議院ヘ回送スル事務○布達書及決議書ヲ或ハ藏貯シ或ハ廻達スル、○諸法規ヲ法律輯簿ヘ記載スル事○諸法規ヲ官報ヘ登録スル事○官印公証ノ事○免稅事件取扱○本省年報、草案○海外貿易年表ヲ出版シ及ヒ一般ヘ之ヲ配賦スル事○本省、諸費ヲ辨給スル事○市場ノ管制○財産公賣、諸事務○本省行政上卿決ヲ得ベキ書類ヲ司ル○本省事務上ニ付出版スベキモノヲ取扱フ事○餘金、制度○年限前納稅ノ制規及其ノ諸般事務○凡、現在主務ニキ特別或ハ臨時ノ庶務ハ此局ニ於テ辨理スルモノナリ

○本省ノ圖書及管轄局

○局長

家屋建物等ノ建築及修理。不動産一切ノ管守。點燈司務。燃火司務。役丁ノ管督。省中ノ諸費ヲ制理ス。諸買入物事務。用品注文ヲ認可シ及之ヲ實施スル。至急ノ小費ヲ辨給スル。諸ノ公信ハ見認印ヲ捺シ及之ヲ送進スル。書籍ノ管守。圖書ノ保存。達書及廻章ヲ貯藏スル。書籍一切ノ目錄書ヲ作草スル。

○全國統計局

此局ヲ分テ二課トナス

△局長

第一課 事務

佛国人口年表。救恤院事務表。養育院事務表。狂癲統計表。質屋統計表(備考)。公有ノ諸館ハ施入サレタル患

物統計表。每五年人口調。農用畜獸統計調。全國統計表ニ干涉セル諸公文ヲ草起シ及ヒ之ヲ刊行スル。

第二課 事務

農産統計表。工業統計表。各年比較農産表。縣稅統計表。農災統計年表。各郡統計支局事務管理。工業統計表。農産工業統計事務ニ干涉スル所公文ヲ草業シ及ヒ之ヲ公報スル。

○會計事務局

○局長

出金允可ヲ與フル事。出金認可捺印之事。諸費額計算事務ヲ司ル。年計之額詳明表ヲ草スル事。會計上ニ涉リ上局及中局ノ決議及調印ヲ請求スル事務

第一會計課

課長

會計政務一般ヲ司ル。定額豫算巨細表取調ノ事。増額
經費及臨時費給取扱方。經費年度調書。及定出入積表
。過時會計年度精算調。大藏省トノ通信一切ノ事務。
統計院(クルレデコント)トノ往復事務。出入比較勘定書。
仕譯明細會計簿。毎月出納對當帳。拂方命令狀差立事
務。會計乃代譯事務下達ノ事。諸方へ達令スル。縣
令へ布達スル事ノ事務。拂方命令書ノ大意書ヲ簿冊へ
登録スル。明細仕譯帳ノ大意ヲ一書ニ纂録スル。月
々貨幣請取方申暢シ及請求スル。縣令ヨリ差出ス所
ノ渡金仕譯目錄ヲ批可スル。及之ニ干渉スル一切往復
事務。凡ソ金銀拂入者ヨリ差出ス所ノ渡金明細書ヲ批
可スル事及其干係通信一切ノ事務。凡テ正副二通りニ

備守スベキ會計簿ヲ司ル其簿五類トス則チ會計日記簿
一冊ハ大帳一冊ハ仕譯帳數冊ハ會計對比簿數冊ハ毎月
締高見分帳是ナリ

第二會計課

諸會計調書ヲ聚集シテ之ヲ點檢シ部类ヲ區別シテ會計
ノ總況ヲ一日明瞭ナラシムル事務。判鑑扣帳(筆跡調印
ハ分別ニテ)類集セル
帳簿ヲ云フナリ。統計院へ差出スベキ總勘定調書及其
大要概畧抄ヲ草案スル。本省所屬ノ諸具及物品ヲ計
算シテ年々公布スル。動産諸品買上代價調書。動産
諸品時々檢査。同歲末調書。学校及其他諸局課ノ出納
調書ノ精算調改。百工専門学校出納調査。統計院へ差
出スベキ調書取扱事務。統計院ト往復事務。カンドミンク
植民ヘノ救助。センビエール、ミクロン、カナダ等ナル

佛國植

民地へ移住ノ者へ與フル給惠事務。火災水難及霰厄等ノ天災ヨリ差起リタル損害之為ノ被害人救助取扱事務。會計年度満期後ニ至リ未決餘算調書事務。

① 金銀出納課

○ 出納長

諸買入費拂方。救助金附與取扱。本省諸負月給渡方取扱事務。諸負月給調書起草。金額請取人へ達書差立事務。拂金仕譯書之帳。出納大簿管守。諸縣出張人負ノ經費ヲ調理シテ之ヲ可否スルヲ司ル。

農務政局

○ 農務長

○ 副農務長

△ 第一分課 農務課長一名

農業学校ノ治部及人員管轄。実地耕種学校一切ノ事務。全国養羊場制度施行。全国牧野管察事務。地方ノ牧場直管諸務。馬函学校ノ行政。馬醫学校ノ諸經費及事業及規則等檢閲心得。馬藥一切ノ事務。馬牛羊豚等ノ畜獸流行病ニ付一切ノ事務。畜類流行病取扱規則及其ノ諸費制定一切ヲ履行スル事。

△ 第二分課 勸農事務課長一名

農事總督(農事上ノ大目付役)。農事ノ總輔。農事議事館。農事上ノ諸法及成規ヲ起草スル事。農業會社ノ事務。諸法耕地実探理事官ノ庶務ヲ司ル。食肉畜採種畜及ヒ農産等萬般ノ事業上ニ付獎勵スル事。勸農ノ褒賞。農業ヲ精巧セシムル法ヲ考求スル事。埤池事務及干水事務

○衛生一切ノ事務。川浚ノ便利ヲ探求スル事。○其事業ニ管理ニ及之ヲ実行辨務スル事。○貸下律法ヲ現行スル事。○開墾一切ノ事務。○水道制度実施ヲ司ル。○農業警察。○地方ノ習慣ヲ保護スル事。○山林培養事務。○農事上諸般ノ便益ヲ探究シ之ヲ纂輯シテ世間ニ其書ヲ發兌スル事。○農事要覽編輯經費ヲ釀金スル事及實地農用諸書刊行入費ヲ釀金スル。○養蚕營業一切ノ事務。○獸類牧畜(英語「ヘルドブーク」別ニ佛名ナシ)事務ヲ管理スル事。○農事議事院ハ他所ニ記載スレハ今茲ニ之ヲ略ス(原注ニ)

△第三分課ニ百穀管務課ニ課長一人

△百穀干涉ノ法制△百穀輸出入價定調表。○本國(佛國ヲ云)△外國一般ノ百穀相場表(百穀相場表トハ佛語ニテ「ブルキユリヤール」ト云フナリ)。○百穀自由賣買擴張事務(異妙ナル高政ナリ)。○畜獸賣買ノ常市場及

限時市場管理。賣肉屋、屠牛場、麵包屋ノ成規草定ニ盡力スル事務。萬般食料賣買常市場及限時市場ノ制度ニ加務スル事。薪木巴里府一般貯藏方管制。薪炭市場及其倉庫取締方法。

△第四分課ニ牧馬地管督兼行政事務課ニ課長一名。
第一牧場掛

牧場官負管理。採種馬ノ職政。諸豫算表ノ起草。代理人身元引受証書取扱。本掛一般事務章程。牧馬賣買景况調。採種馬上ニ付馬種改良策考按。諸般ノ凡積書借家証。市場商標管治。本掛管督一切ヲ精理批可スル事。

第二牧場掛ニ本掛部長一名。
○牧野勸業取扱。採種馬買入及諸牧ニ分配スル事。騎

兵馬取扱事務局職制決定ノ事。勸業ノ賞金ヲ授與スル
事。駿奔及馳走ニ様ノ競馬事務(駿奔ハ原語ニテ「ガロ」ト云ヒ
馳走ハ原語ニテ「トセ」ト云フ)
。早鐘競馬(英語ニテ「フスチビ」ト云フ
「チエ」ト云フ佛語ニシ)ノ事務。競馬委負宣命
事務。競馬例典割付調査。競馬干係ノ單論口供書取扱
。水馬学校。馬躰学校。躰馬ノ賞典。特殊採種馬免許
事件。官許種馬及真種雌馬ノ高程價格(原語「フリー」割合
取締及賣買手續方法。採種馬及三才馬ヲ採ルニ用ユル
雌馬及三才馬ノ三類ニ付諸縣及屬地ニ於テ勸業扶助ヲ
交與スル事務一切。養馬干係ノ參座負申付ル事務。競
勝賞與金額調書及其規則ヲ調理スル事。馬事會社ト往
復事務。馬事ニ付内外地方ヲ論セズ出張事務取扱。牧
野土等參事局制理方。本血產馬記錄簿事務(英語「スチド」
「ハ別ニ」ト云フ佛語
「ハ別ニ」ト云フ佛語)。本血馬種系圖録調査事務及ヒ牧馬產誕録刊行事

務。全國馬部統計表一切ノ事務。

國內商政務局

△內商局長一人

△內商局副長一人

第一分課 商政課 課長一名

內商干涉法律及規則之起草案。商社事務。商法裁判所
創設上加議スル事。相場會所創立及警察事務。公衆借
庫一切ノ事務。卸賣商品公賣之事。兩替渡世申付免許
ノ事(巴里、ボルドウ、リール、里昂、馬耳塞、ナント、ツール、ツ
ノ諸府ハ是限ニ非ズム譯者ノ愚考ニハ右ハ大都會ナル
カ故ニ蓋シ地方直管ニ干シ特別ノ制規各府ニ建ツ者ナ
ルベシ但シ追テ細調ヲ要ス)海上保險世話申付事務。全
國陸地上保險世話司允許事務世間用達營業權ノ制度起

草。匿咎會社(原語「ソシエター」)ノニームナリ干係事務
。諸般保險上取締。保險營業者管理事務局ノ事。人身
上請合預金証券方法ノ事。貯金預所管轄。養老金貯
預所及死去災厄ノ後事請合積金所。勸商會社ノ支
配ヲ司ル。常時市場及定時市場及埠頭賣店及自餘ノ
公場ニ於テ營業上商事警察規則ニ加議盡カスル事。
公道營業賣者上商事警察規則ヲ建設シ及之ヲ管理ス
ルヲ補翼スル事

(但シ商社制度ハ詳細ナルユヘ爰ニ略ス(原文ニ準ス))
(兩替營業人及萬般ノ商事世話人モ亦タ右同断タル
ベシ)

△第二分課ニ工業課ニ課長一名ニ副課長一名
。課長職制

工業及製造百般ニ干涉スル律法及條規ヲ草案スル事。
工業製造上議事局。百般製造工藝ノ議事社管理ノ事。
工業保存局、技藝學校、學術築造部、大學校、吏部取締及ヒ
之ヲ督理スル行政。一技專業職ノ教育(ラキニカ子ルハ、
イニストリクシヨシ)。勸
工會社ノ事。專業參座事務局(工事半論ヲ裁判スルハ專業
助)發明ノ特權事務一式。製造所ノ字画標証ノ事。凡ソ
職工タル者ガ所持セル所ノ營業簿冊簿管理ノ事。製造
場丁稱職業取締。内國勸業博覽會ノ事務。生糸一般ノ
景況視察ノ事。勸業百般ヲ管理スル事務一切。

(技術議事局ノ事ハ略ス)
△第三分課 衛生警察并工藝警察課。
△課長一人

衛生警察。衛生議事館。衛生督理事務局。衛生事務代

目官。流行病院。港内流行病豫防院一切事務。本國外國ニ干セス衛生調査尋訪注茂事務。流行病豫防方一切ノ事務。醫部督学院へ上申文ヲ作草ス。種痘ノ獎勵事務及其ノ擴張ヲ專行スル事。藥種職業上警察規則。秘密私賣ノ藥劑制度。公健保存上一切ノ制度ヲ履行スル事。温泉場ノ警察及支配。温泉場干係規則ノ調査及批可ノ權利ヲ有スル事。衛生上諸般ノ扶助。危險不健康可害ノ三災ニ干渉セル製造所ヲ管理スル事。尺度ノ支配及推衡度量ヲ精査スル事務。

丁 外商政務局

局長一人

(此局ハ大書記官之ヲ專行ス)

第一分課 佛國税関制度并税則表課 課長一人
農工商ノ三業ニ干渉セル參事局ヲ統理スル事。佛國ノ

商法ヲ擴張シ之ヲ鞏固スル策圖ヲ探究スル事項及ヒ之ヲ討論スル事。佛國ト其屬地トノ通商ヲ盛大ニスル事。外國貿易ヲ擴張進歩セシムル事。通商上及ヒ航海上ニ付外國條約。海関税則草案ノ事。税法起草ノ事。税法及海関税法ニ付訴訟等差起スル其事件處分ヲ指令スル事。商品貯藏所ノ制度ニ干係スル事務。修船場(ドック)ノ制則ニ干渉セル諸務ヲ辨理スル事。鯨鯨鯨等ノ海洋漁獵ノ管治。勸奨ノ為ノ輸出品へ減税ヲ許可スル事(ドラーベツキ)。塩漬肉ノ事。税関規則實行ニ干渉シ物品

乙 商局ノ議員

十六人

(同上)

丙 農局ノ議員

十六人

(同上)

丁 工局ノ議員

十六人

(同上)

可害ノ三災ニ干渉セル製造所ヲ管理スル事。尺度ノ支配及推衡度量ヲ精査スル事務。

丁 外商政務局

局長一人

(此局ハ大書記官之ヲ專行ス)

第一分課 佛國税関制度并税則表課 課長一人

農工商ノ三業ニ干渉セル參事局ヲ統理スル事。佛國ノ

商法ヲ擴張シ之ヲ鞏固スル策圖ヲ探究スル事項及ヒ之ヲ討論スル事。佛國ト其屬地トノ通商ヲ盛大ニスル事。外國貿易ヲ擴張進步セシムル事。通商上及ヒ航海上ニ付外國條約。海関税則草案ノ事。税法起草ノ事。税法及海関税法ニ付訴訟等差起スル其事件處分ヲ指令スル事。商品貯藏所ノ制度ニ干係スル事務。修船場(ドック)ノ制則ニ干渉セル諸務ヲ辨理スル事。鯨鯨鰯等ノ海洋漁獵ノ管治。勸奨ノ為ノ輸出品ヘ減税ヲ許可スル事(ドラ、トベツキ)。塩漬肉ノ事。税関規則實行ニ干渉シ物品検査事務官及其評價事務官ノ事。百工製造評議所ト交通スル事。外國貿易年表刊行ノ事。移住所為ニ付キ身元金ヲ定制シ及ヒ之ヲ聞届ル事。

△第二分課 外國税則及商律事務課

務省

○課長一人

外國ノ海上律及商律ニ干スル公文ヲ蒐集スル事務。通商條約ニ干係セル諸公文ヲ蒐集スル事務。外國税則及航海ニ付凡テ關係スル文書ヲ翻譯シ及ヒ之ヲ講究シ又之ヲ認可スルニ至ラシムベキ事。佛國內地商法實際上ニ付及是ニ干係セル苦情ニ付キ論ヲ探究スル事件。外國貿易年表ヲ公行スル事。

第三分課 商法及航海ノ總況事務

各國ノ商業航海工業上ニ管渉セル公私一切ノ文書ヲ蒐集スル事務。領事ヨリ差出スル所ノ公文及之ニ記載スル事件ヲ探求練研スル事。海外市場ノ実況上ニ就キ往復ヲ管理スベキ事。外國文書翻譯事務。外國及自國ノ新紙ハ登録スベキ一切ノ事務。外國派出商事理事官ニ干

目官。流行病院。港内流行病豫防院一切事務。本國外
國ニ于テス衛生調査尋訪注茂事務。流行病豫防方一切
事務。醫學師學院ハ上中文ヲ作草ス。種痘ノ獎勵事

（一）（二）（三）（四）（五）（六）（七）（八）（九）（十）
（十一）（十二）（十三）（十四）（十五）（十六）（十七）（十八）
（十九）（二十）（二十一）（二十二）（二十三）（二十四）（二十五）
（二十六）（二十七）（二十八）（二十九）（三十）（三十一）（三十二）
（三十三）（三十四）（三十五）（三十六）（三十七）（三十八）（三十九）
（四十）（四十一）（四十二）（四十三）（四十四）（四十五）（四十六）
（四十七）（四十八）（四十九）（五十）（五十一）（五十二）（五十三）
（五十四）（五十五）（五十六）（五十七）（五十八）（五十九）（六十）
（六十一）（六十二）（六十三）（六十四）（六十五）（六十六）（六十七）
（六十八）（六十九）（七十）（七十一）（七十二）（七十三）（七十四）
（七十五）（七十六）（七十七）（七十八）（七十九）（八十）（八十一）
（八十二）（八十三）（八十四）（八十五）（八十六）（八十七）（八十八）
（八十九）（九十）（九十一）（九十二）（九十三）（九十四）（九十五）
（九十六）（九十七）（九十八）（九十九）（一百）

渉セル一般ノ事務。海外各地ノ諸産物見本ヲ取寄セ之
ヲ試験スベキ事。海外各国諸地ノ諸物産價格ヲ確定ス
ル為ノ、常備事務局。萬国工業博覽會事務局及之ニ干涉
スル一切ノ工産物上利害得失ヲ考求スル事件。

△常立商事局并商業議事局

△農工商議事局

議長 壹名 農商務卿

第一副議長 壹名 下院代議士

第二副議長 壹名 民撰議院ノ副議長

甲 右局ノ議員 十二人 委員ノ役名ハ略ス

乙 商局ノ議員 十六人 同上

丙 農局ノ議員 十六人 同上

丁 工局ノ議員 十六人 同上

務 省

戊本局ノ書記

二人

同上

田 萬國博覽會事務局

議長 一人

副議長 一人

○委員

博覽會事務局官 三十四人

全国諸官之ニ任ス今マ略ス

園 馬牧事務局

議長 一人

任官名義略ス

委員 九人

同上

園 馬牧議事局

議長 一人

同上

委任事務局官 三十人

同

田 競馬事務局

議長 一人

同上

委員 十六人

同上

園 養老貯金預事務局

議長 一人

兼務ナレハ本官アリ

委員 十六人

同上

園 保険料預金事務局

議長 一人

同上

委官 十五人

同上

園 衛生部議事局

議長 一人

同上

委員 二十人

同上

書記官 一人

同上

立合委員 一人

同上

百工製造議事局

議長一人

同上

① 議員

委員十六人 書記官トモ

同上

② 右局議員

委員二人

同上

③ 局員外

在官立合委員一人

評價事務局

委員四人

(注解略之) 但シ議長ナシ

税関價格確定事務局

議長一人

○第一課

(總轄事務局)

一課ニ付別ニ一議長アリ

事務官 七人 書記官一人

○第二課

(農産事務局)

同上

事務官 七人 書記官一人

○第三課

(礦物事務局)

同上

事務官 七人 書記官一人

○第四課

(綿生糸麻苧等事務局)

同上

分レテ四掛トナル

△生糸掛

事務官 七人

△毛織一切掛

事務官 十一人

△木綿掛

事務官 六人

△麻云々掛

事務官 十人

書記官 一人

○第五課

〔一般製造物事務局〕

分レテ六掛十人

議長 一人

事務官 二十人

〔小分ハ略之〕

書記官 一人

⊗ 農事督理局

事務官 八人

三課ニ分ル

③ 農學校

○四大学校アリ 各校監事一名

教師數名

○實地農業學地

〔略〕

全國ニ四十二ヶ所

○農學舎 十箇所

○牛羊牧野事務局

○農事師範學校 一所

○馬醫學校 三校アリ

③ 馬養牧場

○督理官 三等ニ分ル

督理事務官 七人

○牧場支局 二十二箇所

〔全國一般〕

③ 技藝博物館

〔略之〕

③ 工作大學校

〔日〕

③ 技藝專門校

〔日〕

③ 工業會社附屬政府事務官

〔八人〕

③ 商業會社附屬政府事務官

〔四人〕

③ 製皮會社監事官

〔一人〕

日

日

圖 衛生事務局

十六人〔日〕

圖 溫泉場取締官

溫泉場 五十箇所。委員、醫官 百六拾五人

農商務省章程並職制抄 大尾

大藏省、分取調事件

工部省

內務省

佛國

工部省 一 斑

全國百工會議
農工商議事上院

本局

商局

農局

工局

書記局

技術及製造會議所

技術工職學校

技術學校

技術工職學校 中等

工業無名會社附屬官員

高務特別委員

大藏省ニ物品製造局アリ

但烟草 火藥 砂糖及カルタ

文部省中ニ美術寮アリ

美術本局

史上美術保存局

劇場管轄局

美術製造局

美術及画圖学校

博物館

佛國農商務省職制取調追加録

佛國農商務省内高政務局

第二分課工業課

○百工製造議院

百工製造議院ノ議員ハ其在职ノ期限ヲ十年ト定ム
而シテ議員ノ新陳交代ハ隔年ニ總員ノ三分ノ一ト
ス一度總員選舉アリテヨリ最初二期ハ抽票ヲ以テ
脱員トナルヲ得ベシ若夫レ臨時ニ脱員等アルカ如
キハ次来ノ大選挙アル片マテ代員ヲ命ジラ之ニ交
ハラシム但シ此ノ代員ハ先員ノ務ムベキ残時ヲ補
フノミニ止ル尤モ一旦脱員タリシト雖モ再ヒ選
挙ニ当ルヲ得ベシ(詳細ハ千八百六十三年十月廿四
日ノ律令ヲ参考スベシ)

議員ヲ差出ス所ノ場所ハ全國諸縣ノ各地ニテ最モ
工業或ハ製造等ノ盛大ナル所ヨリ至当ノ人物ヲ
擢シテ此院ニ派遣スルナリ故ニ一縣ニテ一二ノ地
方ヨリスルモノアリ又五乃至七地方ヨリスル者ア
リ尤モ一地方ヨリハ議員一名書記官一名ニ止マル
モノトス
佛國ノ全土各地ヨリ百工製造議院ニ聚來フル議員
ノ總數ハ大凡ソ八十一名ニシテ書記官ノ負數モ之
ニ同シ

○農工商議事上院

抑モ此院ハ一千八百五十三年二月二日ノ法令ニテ
創立セラレ降テ同七十三年ニ至リ其ノ六月五日及

十三日ノ二法令ニテ其設立ノ制度ヲ新更シタリ大
政府ノ農工商三事ニ付キ下問スル丁アル片ハ萬般
ノ問題ヲ該院ニ下附シテ必ス其議ヲ求ム其問題ノ
事項萬種ニシテ一々爰ニ枚舉ス可カラスト雖且暫
ク常規ノ大項ヲ次載ス

稅則上布達ノ案文

稅則制定ノ法案

各國ト高法條約ノ草案

諸國ト通航條規ノ立案

植民地及藩國ノ高法制度案

海洋大獵勸獎方法建設ノ案文

植民及移民ノ二大項ニ付立案

該院ニ於テ一事件ニ付キ實證探求ヲ要スル丁アル

片ハ之ヲ司トル可キ主任ノ官員、悞議シ之ヲシテ其職ヲ奉マシムルノ權カアルモ、トス又一事ヲ吟味ヤシムルノ要スルアラハ農商務卿ノ允許ヲ經テ之ヲ行フヲ得ベシ
該院ヲ分ツテ三局トシ各局ニ議長一名ヲ置キ統理ヲ司ラシム

議長ハ 農商務卿 常定

第一副議長ハ 民撰議院代議士 時宜選定

第二副議長ハ 民撰議院副議長 同上

高局農務工局ノ三者、外ニ本局アリ本局ノ議員ハ其數不定ニシテ時宜ノ便利ニ仍ル

本局議員

諸省ノ輔官悉ク本局ニ出席ス

佛國銀行事務總裁

參議院ノ工部、農商務、外務三課總長

參議院ノ大藏、陸軍、海軍、植民四課總長

農商務省ノ大書記官兼參議

工部ノ鐵道、橋梁二課ノ總長

稅関ノ總長

大藏省ノ間稅局總長

外務省ノ通商、領事二局ノ總長

植民事務總長

農商務省ノ農務行政局長

農商務省ノ內商政務局長

高局議員 十六名 (定員)

民選議院ノ代議士 七人 (但商事熟達ノ人ヲ撰ム)

巴里府商社、旧議長 一人

旧銀行者 一人

立法院、旧代議士 一人

「フアール」府商務會議社、頭取 一人

「マルセイユ」港商同社、頭取 一人

「ホルドゥ」府商同社、頭取 一人

「サント」府商同社、頭取 一人

「巴里」府商同社、頭取 一人

「里昂」府商同社、頭取 一人

農務局議員 定員十六人

民撰議院代議人 十人

中央農務會議社頭取 一人

農業學者 四人

旧代議人 一人

工務局議員 定員十六人

代議人 十一人 (内一人「サント」府商務會議社副長)

工學者 三人 (内二人「リヨン」及「サンラチエ」ヨリ出ツ)

「ルエバー」府、商務會議社頭取 一人

「エルブール」府、商同社頭取 一人

書記局

関稅製法局長 一人

商務省書記官 一人

○技術及製造會議所

理学部督學士 一人

參議院旧課長 二人

鑛山検査長 一人

農商務省兼工部省旧課長	一人
鑛山技術師長	一人
同 技術師	二人
製造師	一人
商 人	一人
理学部督学博士	一人
参議兼関税総裁	一人
関税官	一人
ヤイ之縣高法裁判所長	一人 (但商人)
外高政務局副長	一人
技術工職学校教官	一人
書記官	一人

幹事

参議兼農商務省大書官 一人
 内高政務局長 一人

客員

海軍技術師長 一人

○技術工職学校 サールエツチエ工 技術工職ノ保存所

技術工職学校ハ農業及百工技術ニ適用スベキ大小
 器械ノ模型及繪圖或ハ解説書ヲ領収スベキ所ト做
 ス

此学校ニ於テ謝金ヲ要ヤスシテ十三種ノ学課ヲ教
 授ス分校ニ於テ圖画及幾何学ノ二課ヲ学ビ得ベシ
 技術工學上蒐集品ハ日曜水曜ノ兩日十時ヨリ四時
 迄ニ公同ノ縦覧ヲ准許ス(但縦覧則畧之千八百四十
 八年四月二十八日議院ノ決定ニ出テ從來高務省ニ

於テ制定及管理ヤレ所ノ度量衡基本ヲ同校ニ遷シ
而シテ檢査及關係ノ諸務ヲ兼理セシメリ

○上等技術学校

エコール、サントラル、デ、サール、マニッラ、ラエー

此学校ハ千八百二十九年ノ官立トス千八百五十七
年六月十九日ノ法例ニ由テ官民共ニ入学スルヲ得
ヘクナレリ尤モ共同百般ノ百工技術師ヲ養育スル
ヲ以テ目的トス

生徒中官府縣ノ公費ヲ以テ入学スル者アリ國家ニ
関スル工業勸奨メント欲スル者ハ農商務省ニ其趣
ヲ出願シ其允准書ト共ニ再々八月一日前ニ其管轄
廳ニ出願スベキヲ要トス

○中等技術工職学校

エコール、ダール、エ、メッチェー

此学校ハ水鉄及其他ノ工業ニ付キ職人頭領及学能

兼備ノ工業職人ヲ養育スルガ為ニ設立ヤル所ノ者
ナリ

此類ノ学校ハ全國ニ数所アリテ一校ニ入学スル空
徒ノ人負ヲ三百人ト定ム貧生徒ハ其ノ等級ニ依リ
学費ノ全額或ハ其ノ一部分ヲ官ヨリ供給ス自費生
徒モ亦々非常ノ事故アリテ親屬ヨリ其費ヲ供給シ
能ハガルルハ高務卿ノ特典ヲ以テ官費トナス
全國ノ技術工職学校ヲ統理ヤンガ為ニ檢査總長一
人(後其數名略之)

○工業無名會社附屬官負

兼合馬車會社ニ一人
巴里府瓦斯會社ニ一人
「ウヒシー」及「ブロンヒエ」温泉會社ハ各一人ツ、

○商務特別委員
「アブル」及「マルセ」ハ船渠所屬庫會社ハ各一人

農商務省追加錄終

工部省

工部卿

國道縣道ノ營造修繕等一切ノ事務ヲ管ス(但縣道ノ諸入費等ハ内務省之ヲ管ス)河川ノ航行及堤防運河并人民ニ讓與セシ運河ノ管理河漢ノ警察公海商港
泇海燈臺川上渡船耕作地開良事業沼地埋填水道ノ事業小河船ヲ停ハ一切ノ事務水カ管業所規則鑛物製造場ノ管督鑛山探偵及之ヲ人民ニ貸與スル并鑛山ノ監察石山開穿ノ事業一切鑛泉探偵及保護汽機安寧ノ制度一切鐵道討究營造及鐵道會社ノ工業及汽車運轉ノ事務一切殿堂及共同館ノ建築等ヲ管掌ス

○本局

○商務特別委員
「フアブル」及「マルセ」ハ船渠所屬庫會社ハ各一人

農商務省追加録終

工部省

工部卿

國道縣道ノ管造修繕等一切ノ事務ヲ管ス(但縣道ノ諸入費等ハ内務省之ヲ管ス)河川ノ航行及堤防運河并人民ニ讓與セシ運河ノ管理河漢ノ警察公海商港
泇海燈臺川上渡船耕作地開良事業沼地埋填水道ノ事業小河得ヲ得ハ一切ノ事務水カ管業所規則鑛物製造場ノ管督鑛山探偵及之ヲ人民ニ貸與スル并鑛山ノ監察石山開穿ノ事業一切鑛泉探偵及保護汽機安寧ノ制度一切鐵道討究管造及鐵道會社ノ工業及汽車運轉ノ事務一切殿堂及共同館ノ建築等ヲ管掌ス

○本局

及ハ
ハ
ハ

參議兼大書記官鑛山監督

一頁

但本局一切ノ事務ヲ掌ル

橋梁堤防掛

參議兼橋梁堤防監督

一頁

第一課港湊運河 第二課大小ノ船舶ヲ通運スル河川

第三課水理一切ノ事務

○鐵道

鐵道管造前後一切ノ事務掛

第一課同 管造考按及之ヲ讓與スルノ事務

第二課 鐵道造管ノ事務

鐵道管業掛

第一課 鐵道外部關係事務

第二課 同 内部關係事務

文部省中美術掛

但彫刻、圖画、建築、裝飾、
劇場、音樂、塔、碑及其他

第一 美術本局

第二 史上美術保存局

第三 劇場管轄局

第四 美術製造局

美術及画圖學校ハ美術掛ノ管轄トス

幼年画圖學校

此學校ハ美術掛ノ管轄トス美術ニ志アル者此校

ニ入学スルヲ得ベシ各種ノ圖画即人、獸、鳥、獸、草木

景色及彩色等ヲ學習スルモノトス

博物館ハ渾テ美術掛ノ管轄トス

大藏省中物品製造務局

但烟草、火薬、砂糖、及カニ

局長

往後一切ノ事務、雜務一切、官有物ノ管理、職人ノ往、
募、官負及雇人ノ名簿ヲ編成シ之ヲ保有スル、職
人仕立方ノ方法及其改正ノ、付上申、上決議
ヲ仰、職人ノ雇ヲ免スル、職人身本金ヲ預、
置、了、休暇ヲ准許スル、官有製造場實用学校、特
別ノ事務等ヲ管掌ス

監督

製造場監督技術師長

三名

烟草ノ耕作、貯藏、及製造所、其他火薬及砂糖製作所
ヲ監督シ、且以上ノ物品製造ノ景況及其改良法ヲ
報告スル、烟草及火薬貯藏所、且賣店等ニ於テ

其貯蓄法及其物質ヲ検査スルヲ製造所實用学校
ノ生徒ヲ試験スルヲ入学志願ノ者ヲ試験スルヲ
烟草及火薬砂糖等ノ製造所等ノ監督規則ヲ創案
シ及之ヲ改正シ而メ之ヲ票議スルヲ烟草葉ノ培
養製法及之ヲ製造スルヲ且製造ニ関係スルヲ
表及報告書ヲ作為スルヲ局長ヨリ下命シタル特
別ノ事件ヲ研究スルヲ

正シカイワロベジニアブリタニカ抄譯

佛國政務ノ部

一 通商並製作事務宰相

此ハ新官ニシテ其事務半リ大蔵卿ト半リ内務卿トシテ廣クシテノナリ
千八百九十年通商事務宰相ヲ廢シ其職務ハ内務省ニ遷シ
タリ

千八百二十年官工事務宰相トシテ置ケリ

通商事務宰相ハ高會議員ト一致スルヲ為替銀行ヲ命シ一但
シ巴勒中ノ者ハ大蔵卿之ヲ命ス(保候社創建ニ就テノ諸請求
並ニ其規程等ヲ検査シテ發明人ニ專ニ賣免許ヲ與工定額市
及ニ定市ヲ立或リニ廢シテ其處ニ高事務宰相中ニ裁制官
一カ人ノ通任ヲ決定シ且通商及ニ製造ノ繁盛ヲ振興スル
キ事等ニ特別ナル優待ヲカヲ有スルモノトス其給俸ハ

十二万フニシナリ

○普四改州ノ部

會計兼通高事務宰相

○通高 歳入 歳出 高業 製造 帝回ノ帑之 租税及也

鑛山等ノ宝庫ヲ管理ス

○歳入事務宰相(内務卿トナリ)

○通高 南領地 農民及ト其官務ヲ司ル

○通高 西政州ノ部

○通高 官工事務宰相ヲ置キ 驛道致ヲ兼ス

此他 千七百六十六年ノノステイワメンスイル
グウクニ由ルハ 伊太里ニハ 通高
勤工 農業事務宰相アリ 土丹其ハ 通高 農業 官工事務宰相
アリ 又 佛國ハ 農業 通高 官工事務宰相アリ 此ニ 皆 其 務 相

指メテ 其 權 限 如何ヲ 詳ニセム

右 四 諸 者、勤 務 章 程ヲ 以テ 其 權 限 如何ヲ 詳ニセム
此 等 之 見ス 政ニ 依 佛 等、日本 在 留 公 使 館、於テ、又
國々ニテ 此 等、事務ヲ 官 理スル 者 衆、職務 章 程、其
ヲ 搜 索セシメリ 極テ 考、大 冊ヲ 得 可シ 其 尚リ 民 官
于 業ヲ 工 部 者、概シ 其 他、工 部ヲ 以 官 理スル 者 亦 可
然リ 要 是 以テ 且 民 官 于 業、如キ 前 既 概 略ヲ 詳
述 仕 者、工 部ニ 於テ 其 官 理、其 官 理ノ 所 務 ヲ 詳
述 呈 呈 且 其 官 理、其 官 理ノ 所 務 ヲ 詳

山内 徳 之 助

○エンカイゴロシアブリタニカ

工師 シエンモジナル

工師ハ 器 材

工 師 學 校

器 材 及 工 師 學 校 之 運 用

事務ニシテ民生ノ技術及以テ器之考知ヲ多クシ且ニ度
安穩トシテんモノリス口好美稱之爲モ速屬セシハの教方ハ橋
梁、匠工、船槽、瓦葺、船海、内地運船、轍道、造紙、
製、造船、地道、水工等ノ各下ニ之ヲ属シ、尚、物産論、水力
学、造紙術、測量術、沼澤、物力学等、各下ニ之ヲ属
ス

保國内務

内務省ハ州邑ノ政令ト公衆ノ安寧トヲ管理シ出版、書肆、
電線等ノ諸件ヲ制定ス

内務省ヲ分ケテ各課ト為ス其ノ如シ

第一書記課

文書ノ往復、記録、政府ノ書、州、書、房、内
政ニ関スル法律命令書及其他緊要書類
ノ貯藏ヲ掌ル

第二職負録

官吏ニ係ル諸件及選挙ニ関スル諸件ヲ
掌ル、後、子護國兵ニ関スル支務ヲ此課ニ
合ス

第三行政警保課

第四州邑政務課

第五美術課

此課ヨリ文學諸藝ヲ分テ教育支務省ニ

任シタル以來其課務大ニ閑トナル

第六掌簿法課

内務省ニ属セシ教育、支務、商務、工務ヲ分離セシト雖、
上
下等ノ學校ハ州邑ノ政務ヲ任トスル長官内務卿之ヲ管轄
スベク又學諸藝ハ美術ト分離ス可ラザルモノト思量ス
建造ノ業モ亦内務省ノ統ル所ナルベシ宗教ノ支務ノ如
キハ此省ニテ管理セズ司法省ニ属スルヲ良トスベシ

勸業局事務章程
取調子付談書ノ内

英國高務方院

孟加拉商務會議所

英國政府商務局

此緊要ナル衙門ノ地位本職ノ如何ヲ知ラシム欲ス
ルニハ先ツ其組成ヲ詳ニシ而シテ次ニ其掌ル所ヲ
明ニスルヲ以テ適當トス

第一 商務局組成

本局ノ起原ハ紀元一千六百六十年第二世查尔斯二局ノ
諫議官ヲ置キ一ハ商務ヲ掌ラシメ一ハ外地開拓ノ事ヲ
掌ラシメシ時ニ在リ後此二局相合シテ一トナシ欲シテ
商務局ト云フ其改革ヲ經ル一ナラス而シテ一千七百
八十二年第三日耳日即位第二十二年條例ヲ以テ之ヲ
枢密諫議局中ニ於テ新クニ一課ノ委員ヲ置キ以テ該事務ヲ掌ラシ
ム一千七百八十六年諫議局ノ敕令ヲ以テ枢密諫議委員
ト為シテ之ヲ分チ凡ソ商工及ビ外地開拓ニ関スルノ事

ハ尽ク之ヲ掌ラシムモ亦即英國藩屬兼管スル商務局ト
トハ即チ是レナリ後チ米國ト和ヲ講シ兵ヲ収ムルニ及
テ藩屬ノ事務ハ内務卿ノ擔任スル所トナレリ然レドモ
近年ニ至ルマデ藩屬事務ノ举措諫議院ニ於ケル皇帝ノ
裁可ヲ要スル者ハ總テ之ヲ商務局ニ回致シ以テ局長奉
聞狀ノ料ニ供ス唯方今ハ則藩屬事務局ヨリ回致スル者
ハ一ニ商事ニ関スル者ノミニシテ本局ヲシテ之ヲ檢査シ及
ビ本局年報ノ料ト為サシムルニ過ギサルナリ
商務委官ハ皇帝即位ノ初ニ於テ必ず諫議局ノ敕令ヲ以
テ之ヲ任ズ長一人副長一人千八百六十七年副長ノ官ヲ
廢ス尚ホ下ニハナリ
又其本職ノカラ以テ本局ニ参スル者アリ即チ左ノ如シ
ナントルブリー大教正
ロルド、チヤンセロル國重
司ナルヲ

大藏卿 即チ一等宰相

司書官 ロシ、レリ、ホフ、ステート

組稅院長 ナニ、シ、ル、カ、イ、キ、カ、ル

此他ノ内閣輔相

此他ノ杞密諫議官

但シ其時在職施政官ニ加ハラズトモ其本局ニ
参スルハ職ニ杞密諫議局ニ居テ藩屬事務ニ通曉ス
ルヲ以テナリ

此取後ニ書スル杞密諫議官ハ時ニ或ハ之ヲ招テ局會ニ
参セシムルコトアリシトモ常ニ會員タラザリキ而シテ
一千八百三十五年パウレットトムソン氏局長ノ任ニ任
リシ時迄ハ局會ヲ開クコト屢ナリシトモ大臣ノ此會ニ
参スルハ極テ不便ナル所アルヨリ之ヲ廢スルヲ以テ可

事務

トスルノ議アリテ遂ニ漸ク其事務ヲ以テ本局ニ限ル者
トスルニ至レリ然レ此近年ニ於ケルガ如ク藩屬ノ事務
多ク重大ナル者アルニ至テハ政府ハ本局全委員ヲ會シ
テ之ヲ議スルヲ以テ可トスルヲアリ此時ニ於テハ全局
員相會スルヲ以テ當時在勤施政官ノ中ニ加ラズト雖モ
職ニ把密諫議局ニ在テ卓絶シタル人ノ勤勞ヲ得テ以テ
憲法上重大ナル事件ノ熟議ヲ保シ而シテ輔相ハ局會報
告ヲ得諫議院ニ於テ皇帝ノ允敕ヲ請ヒ之ニ據テ議案ヲ
草シ以テ議事院ニ出シテ之ヲ議セシメタリ

現今ニ於テハ本局ハ行政衙門中ノ一課ニレテ長一人書
記数名及ヒ他ノ屬員ヲ以テ成リ以テ本局擔當ノ事務ヲ
處辨ス初メ局長ハ必ズシモ常ニ内閣ノ一員タラス一千
八百六十四年外國貿易事務委員建議シテ局長ヲシテ必

ズ内閣ノ一員ト爲シテ以テ其高務上ノ意見商議ヲ熟思
審考セザル可ラザルヲ言フニ至リ之ヲ用井テ必ズ局
長ヲ内閣ニ加ルヲ例トス

副長ハ内閣ニ位ヲ台メズト雖モ把密諫議官ノ職ニ居リ
當時在勤施政官ノ一員ニシテ一千八百六十七年此官ヲ
廢スルニ至ルマデ然リトス此官ヤ特任重責ナキヲ以テ常
ニ支銀總監ヲ兼攝シ年俸二千封度ヲ領シテ局長ノ俸ト
其額ヲ同クス而シテ二官並ビ立テ其職ノ相同ジ本局
ノ副長ノ如キ者アルトキハ必ズ相悞和セズシテ最モ
其心ス可ラザル所アリ蓋シ西官各々公文官書ヲ檢閲ス
ルニ五ニ平等ノ推アリテ常ニ其舉行スル所ノ事務ヲ規
ルヲ私事ノ如クスルニ至リテ五ニ相通知セザル而シテ凡
ソ本局ノ事ハ大小輕重ヲ問ハズ長官主任タルヲ以テ皆

其責ヲ負擔セザルヲ得ズ長官不住ノ時ハ副長其位ヲ占ムルト雖モ長官ト課ヲ分テ寮ヲ異ニシ而シテ議事院ニ出デ、本局ノ代員タルトキハ副長ハ唯其擔当ノ事務ニ任責スルノミナルニ至ラザルヲ得ズシテ其弊蓋シ甚クシト謂フ可シ然リ而シテ副長ノ官ハ勢終ニ責任スル所ナキニ至リ長官ハ之ニ事ヲ任スル所ヲ嫌ヒ而シテ副官モ亦事ニ任ズルヲ嫌フ所ヲ得テ公務處辨ノ際予所ヲ生じ須臾ラクモ此官ヲ置ク可ラザル所明瞭タリ是ニ於テ一千八百六十六年商務局ヨリ書テ大藏省ニ出シ局務愈多端ニ趣クヲ以テ官員ヲ増シ且ツ副長ト大藏省ノ會計書記トヲ以テ委員ニ命ジ以テ商務局ノ組成ヲ審査シ以テ事務ヲ挙グルノ効ヲ得施設上用ヲ節スルノ方法ヲ講セシメニコヲ請ヘリ。

談委員ハ精細ナル報告ヲ出シ以テ其近年未更ニ商務院ノ擔任スル所トナリシ事務ヲ詳載シ而シテ院制ヲ改良シ以テ理事施務ノ方法ヲ釐正スル所ヲ薦メリ其釐正改良ス可シト云フ所首トシテ左ノ如シ曰ク院務ニ擔任スル者唯一人タル可シ曰ク書記官ニ員ヲ置キ一員ヲシテ議事院ニ參坐セシム可シ曰ク副長ノ官ヲ廢ス可シ曰ク推書記官ハ院務施行ニ要スル所ノ員ヲ置ク可シ又曰ク本院ヲ分テ四寮トシ推書記官一員ヲ置ク可シ即チ一ニ曰ク鑛道寮ニ曰ク海高寮三ニ曰ク港濱寮四ニ曰ク常高寮是ナリ是ニ於テ條例ヲ立テハ以テ副長ノ官ヲ廢シ書記官一員ヲ下院ニ參坐スルノ事ヲ定ム而シテ自此以後支銀總監ノ官ハ陸軍裁判長官ノ兼攝スル所ト

ナリ年俸一千五百封度ヲ以テ議事院参事ノ書記官ニ給
ス即チ副長年俸ノ五百封度ヲ減シタルナリ
其他猶ホ委員ヨリ釐正改良ヲ薦ムル所アリテ先ツ本院
ニ於テ之ヲ可トシ一千八百六十七年一月七日大藏部
官ノ准允ヲ徑テ直々ニ之ヲ舉行セリ
是ニ於テ更ニ本院ヲ分テ六寮ト爲シ或ハ推書記官ヲ以
テシ或ハ他ノ首官ヲ以テ其事務ニ任セシム寮目左ノ如
シ一ニ曰ク商事雜務寮ニ曰ク鐵道電信寮三ニ曰ク港
口寮海濱ノ事務及ビ漁魚ノ管理ハ此寮之ヲ司ド四ニ曰ク海商破船寮五ニ曰ク
統計寮六ニ曰ク會計寮此寮分テ二課ト爲シ一ハ水手
ノ掌ド
右諸寮ノ本務ヲ詳説セントスルニ當リ本院ノ組織ニ関
スル所尚ホ一二ニ注意スルヲ先ンズルヲ要ス故ニ之

ヲ説クト左ノ如シ
外国通商ノ事ニ於テ英國ノ利害ヲ謀ルハ本院ノ任スル
所ナリ然リ而シテ其施設スル所未ダ宜キヲ得ズレテ以
テ英國ノ利益ニ進捗スルニ足ラズ一千八百六十四年ニ
至リ議事院ノ内外ヲ問ハズ其^不滿ヲ訴ヘル者頗ル多シ蓋
シ外國ノ往復ハ事大小トナク悉ク外務省ヲ徑テ本院
至リ爲メニ貿易事務處辦ノ際ニ於テ不便ヲ生シ遲後ニ
失スルト極テ甚シ加烏本院ノ地位卑キクシテ僅ニ行政
衙門中ノ一課タルニ過キザルヲ以テ其勢ガラ悉シテ商
事ヲ處辦スルヲ得ズ是ニ於テ一千八百六十四年四月
十五日下院ニ於テ新ニ委員ヲ命ジ商務院外務省兩間ノ
定制外高ノ事ニ関スル者ヲ審査セシム而シ該委員報告
ヲ出シ左ノ諸件ヲ薦ム一ニ曰ク商務院ハ外務省ト其地

位ヲ同クシ以テ其貿高ニ係ル意見ヲ以テ至当ノ貴重ヲ
得セシムルヲ保シ且ノ院長ヲシテ常ニ内閣ニ在ラシ
可シニ曰ク商務院ハ外務省ヲ徑テ在外ノ公使領事ト
直ニ往復シ以テ外高ニ関スル報知ノ送達ヲ迅速ニスル
ヲ便ニス可シ三ニ曰ク外務省中ニ一官ヲ置キ專ラ商務
院ノ往復ヲ掌ラシム可シト第一件ハ政府直ニ之ヲ行ヘ
リ而シテ一千八百六十五年三月十七日政府ヨリ下院ニ
通知シテ曰ク第二件ハ之ヲ舉行スルヲ欲セ又蓋シ該
員長ノ投票ニ依テ然レモ第三件ニ從ヒ外務省ニ於テ新
議決セシ希ナリ
ニ課ヲ設テ通高及領事課ト名ケ而シテ交易ノ事ニ涉ル
通信往復ハ獨リ商務院ノミナラズ何衙門何寮局ヲ論セ
ズ内外ノ人民若クハ會社ヲ問ハズ該課ヲシテ之ヲ掌ド
ラシムト即之ヲ舉行セリ

抑貿高ヲ管理スル輔相ノ職タルヤ公平ニシテ偏私ナク
以テ廣ク貿高ノ利害ヲ察スルヲ要シ而シテ固ヨリ獨リ
各種ノ高業ニ與カル人ノ利便ヲ謀ルノミナラズ凡ソ全
國一般苟モ貿高ニ涉ルノ事ハ之ヲシテ各其所ヲ得セシ
メザル可ラズ故ニ能ク本院ノ職掌ヲ尽シテ以テ其体面
ヲ汚カズ以テ他ノ信任ニ負ガザルヲ致サント欲セバ
本院ノ上官タル者苟モ自ラ貿高ノ事ニ関與セズ他ノ疑
疑ヲ避クルヲ以テ至要至切トス蓋シ下院ニ於テ此論ア
ル既ニ已ニ久シ而シテ施政官モ亦相繼テ此論ニ戻ラズ
遂ニ一千八百六十五年ゴスチエン氏商務院副長ノ官ニ
任ズルニ當リ著名ナル一高社社長ノ職ヲ辞シ兼ニ英倫
銀行幹事局ヲ退ケリ一千八百六十六年ステーブミケ
バ氏徑テ其任ヲ蒙リ而シテ英倫銀行幹事ノ職兼ニ其他

ノ幹事職其命ヲ辨スルニ当リ帯ビシ所ハ直ニ皆之ヲ辞セリ蓋シ或ハ貿易高ノ業或ハ貨幣ノ事ヲ辦理スルニ当リ其責任ニ在ル官吏タル者自営ヲ謀リ私利ヲ圖ルノ疑ヲ受ルヲ恐ルレバナリ
院長若クハ書記官上院ニ出テ、高務院ノ代員トナルハ甚ダ願フ可キ所ナリト雖モ本院ノ上官屢々下院ノ民委員ニ舉ゲラル、ヲ以テ或ハ上院ニ出テ或ハ高事ヲ義ル為メニ設クル所ノ上院小會議ニ參シ以テ高務院ノ員タルヲ能ハス因テ以テ不便ヲ生ズル極テ甚シクシテ最モ非ス可キモノトス

第二 高務院ノ職掌

昔者高務院ハ事ヲ議スルヲ以テ主トシ而シ施務ノ職アルヲ極テ鮮シ軌迹ニ至リ議院制定ノ條例ニ據リ其負擔

スル施務ノ職大ニシテ且日ニ増シ而シテ其事務タル極テ重要ニシテ極テ繁多トス

現今本院ノ職掌其首タル者左ノ如シ

内外貿易ニ関係スル事件ハ細大ヲ問ハズ總テ之ヲ知治シ全國一般ノ商業ヲ保護スル事

前條ノ事件ニ付他ノ衙門ニ勸議スル事

例ハバ外國トノ條約若シク議定ヨリ生ズル利益ヨリ件ニ於テハ外務省ニ勸議シ皇帝ヨリ下賜スル特許狀若クハ專賣免狀ノ賜與及ビ其條款ニ涉ル事件ニ就テハ内務省ニ勸議シ藩屬ト貿易高ノ關係ヲ變更スル事件及ビ國外ニ燈臺ヲ建築シテ之ヲ管理スル事件ニ就テハ藩屬ニ勸議シ海關稅國產稅兩條例ノ變更若クハ其變更ノ熟議該條例ニ由テ人民ノ艱苦

内務省

ヲ醸生し来リし事按及ビ該條例ヲ外ヅレテ論ズ可
キ事項ニ就テハ大藏省工勸議スルガ如シ

貿易ニ関シタル議案及諫議院敕令ヲ草スルモ亦屢本
院ノ掌ドル所トス

議院ニ於テ貿易ニ関スル議案及ビ議事ノ進路ヲ督察
スル事

鉄道電信專賣免許港口船舶ノ事ニ関スル議案等内
貿易ニ係ル事件ヲ督察スル事

地方ヨリ該地方限リノ議案ノ決定ヲ議院ニ請願スル
トキハ議院ノ許可ヲ以テ之ヲ豫メ検査スル事

議院ニ於テ貿易ニ係ル未決ノ議事某々人ノ利益ニ関
係アルトキハ該人ヨリノ代人ヲ受ル事

一千八百三十二年本院又統計表ヲ編輯シテ之ヲ印行ス

ル任ヲ受ケ一千八百四十年以來諸般ノ條例ニ據リ總テ

鉄道會社ヲ監督セリ又模型官校モ本院ノ管理スル所タ

リ其後教育局此官模型及ビ諸般製造記録局并ニ合本會

社記録局モ千八百六十二年ノ會社條例ニ定ムル所ノ職

掌ヲ以テ本院ニ屬ス一千八百五十年以來商船及水手修

例商船水手貯金社禁業條例汽船監察條例ニ依リ本院

ニ至重ノ職任ヲ受ケ本院ニ於テ商船水手總記録局ヲ

立シテ之ヲ管理ス一千八百五十五年量氣局ヲ置ク一

八百六十一年燈明錨標浮標主任官ヨリ建議シテ議院ニ

於テ總燈臺職務ヲ代理シ以テ燈臺等ノ費用概算ヲ發議

説明スルノ職務一千八百五十四年商船條例發行ハ式ヲ

照ラシテ之ヲ商務院若シハ海軍省ニ委任ス可キ旨ヲ云

ヘリ一千八百六十二年六十五年兩年ニ於テ地方限リノ

條例ニ定ムル所ノ港口 行人事ニ係ル事務及推カ海軍
省ヨリ移シテ更ニ本院 シテ之ヲ擔任セシムルモノア
リ阜頭及港口會ヲ允准スル為メ議院ノ允可ニ從ヒ臨時
ノ命令ヲ作スノ權モ亦本院ノ任ズル所ナリ一千八百六
十三年錨及鎖綱條ニ制定スル所ノ職務ヲ分任スウキク
トリヤ即位第^二十六七^年條例第百二十四章ニ依リ亞
加利製^{曹連類}ノ監督シ以テ其製品ヨリ發スル所ノ益
瓦斯ヲ凝縮スル^丁ヲ確保スルノ權アリ一千八百六十
年海濱海底海峽海灣并可航河水凡ソ海潮ノ注スル所ハ
其利其權皆之ヲ本院ニ屬シ以テ管理擔任セシム^{但シ條}
例中表目ニ掲グル所ノ者ハ之ヲ除ク同年又度量權存
置ク一千八百六十六年及六十八年海漁條例ニ依リ英國
中ノ漁業ハ之ヲ定立改良監察保守スルノ權アリウキク

トク^リヤ即位第^二十九年三十年條例第^八十九^章ニ依リ
多迷斯河ノ可航水ノ上部ヲ守成スル人員ニ命ジテ一員
ヲ加ヘ成規ノ限制ヲ躰ヘバ^レテ該流水ノ保守改良ヲ進
持セシムルノ權アリ一千八百六十七年即位^ウキクトリ
ヤ即位第^三十年三十一年條例第百二十四章ニ依リ検査
官ヲ命ジ保稅倉ヨリ取りテ以テ内外航行中壞血病ヲ防
グ為メニ用ル檸檬汁ヲ検査セシムル權アリ又航行ノカ
向ニ依リ船舶ノ種類ニ隨ヒ船中蓄フ可キ藥品及藥品
量ニ用法書ヲ添エテ時々之ヲ發行シ及ビ命ヲ下シテ發
行セシム可シ一千八百六十八年ウキクトリヤ即位第^三
十一年三十二年條例第^三十三章ニ依リ棉^ヲ輸出入ノ稅
計表ヲ編輯印行スル權ナリ
尚此外一千八百五十二年都府水機條例一千八百六十三

以下言及

年ノ電信條例一千八百六年ノ漁業盟約條例ニ定ムル所ノ職掌アリ又敕許狀ノ賜典皇帝ニ稟告シ并テ其約款ヲ定ム又總テ内外貿易ニ係ル立法議案ヲ原草シ若クハ之ヲ監督ス但海関稅國產稅ノ事銀行若クハ通幣ノ事ハ近年專ラ大藏省ノ負擔スル所ナルヲ以テ之ヲ除ク
高務院ノ漸次ニ委任ヲ受ケシ所ノ事務ハ已ニ舉テ尽セリ今將ニ各寮所任ノ事務ニ及バントス
前既ニ言ヒシガ如ク一千八百六十七年更ニ本院ノ課務ヲ分チ以テ六寮ト為セリ其各任ズル所左ノ如シ

第一 商業雜務寮、度量衡局此ニ屬ス

本寮ハ外國若クハ英植民地トノ貿易航海條約及ビ之ニ関與スル事件ヲ豫定シ又アルトエニオシ板權商標會社同夥等ニ係ル雜事并ニ他寮ノ任ゼガル所ノ貿易ニ係ル

事件ハ一切本寮ノ負擔スル所トス

一千八百六十四年條例ヲ定立シ英國度量衡モ十數昇降ノ法ヲ用ウルヲ免ルセリ是ヨリ先キ十數昇降法ヲ主張スル者其定立ヲ望ムト既ニ久シ而シテ一千八百六十二年下院ニ於テ委員ヲ撰定シ以テ度量衡共ニ一定ノ法ヲ制シ以テ獨リ内國ノ貿易ヲ利スルノミナラズ亦以テ外國通商交際ヲ便ニスルヲ熟考審案セシム該委員ハ十數昇降ノ法ヲ用ヰザレバ以テ度量衡ノ制一ナラザルヨリ生ズル所ノ大不便ヲ医ス可ラザルニ決ス是ニ於テ此條例ヲ定立スル未新制ヲ用ウル為メ多クカラ尽スト獨リ英國ニ於テノミナラズ植民地藩屬國モ亦然リトス
該委員ハ又度量衡局ヲ以テ高務院ニ屬シ以テ之ヲ保守

信證し其検査人ヲ監督スル等總テ之ニ係ル所ノ職務ヲ
擔當セシメシテ又該局ヲシテ時々便法ヲ立テ以
テ諸官省中及び民間ニ十数昇降制ノ行ハレシメテ勸奨
シ且ツ其習知ヲ廣クスルコトヲ勉メシメシテ勸奨メタリ
是ニ於テ一千八百六十六年條例ヲ立テ本院ノ中ニ度量
衡局ヲ設ケ度量衡監ノ官ヲ置キ度量衡ノ監保從來租稅
院ニ屬セシ者ヲ擔當シ大凡ソ比較信證其他度量衡ノ係
ル學術上ノ探究ヲ援助スル等ノ事ハ總テ本院ノ指揮ニ
從テ之ヲ行ヒ其經行スル所ノ事務ヲ該院ニ通知スル為メ之ヲ本院ニ報告ス
ルヲ以テ其職トス又時ヲ定テ旧制ノ度量衡ト新制ノ度
量衡トヲ比較平均スルニ方法モ同條例ノ定ムル所ナリ
尔来本寮ノ推頭度量衡監ヲ兼攝シ此兼官アルガ為メニ
一年百封度ノ増給ヲ得ル

及以贈禮重

一千八百六十七年二十ヶ國代員ヲ出シテ巴里ニ會シ以
テ度量衡及び貨幣ノ事ヲ議シ以テ各國ニ勸メ十数昇降
ノ制ヲ學ビテ之ヲ用サシメ其行ハル、極テ廣キニ色
ラシク期スルニ一決セリ是ニ於テ其翌年議案ヲ議院
ニ出シ一千八百六十四年條例ノ更ラザル所ヲ補ハンコ
ト議ス蓋シ六十四年條例ニ於テハ本院ヲシテ十数昇降
ノ本位ヲ確定シ以テ該條例ニ依テ用ウル所ノ十数昇降
ノ尺度ノ正不正ヲ保證セシムルノ事ヲ定メズシテ該條
例ハ能ク効ヲ奏セズ故ニ之ヲ加ルコトヲ議スルナリ又此
議案ニハ年限ヲ定メ之ヲ踰ルノ後ハ旧制ヲ廢シ專ラ新
制ヲ用ウ可キ方法ヲ定ム而シテ之ニ就キ議論頗ル時ヲ
費シ遂ニ五月十三日再次讀會ヲ開キ然レド議未ダ決セ
ズシテ之ヲ次年會期ニ讓シリ是時ニ方リ敕撰ヲ以テ妥

員ヲ定メ彼各國會議ノ決スル所ノ可否ヲ精考シ之ヲ英
國ニ施行シ得可キヤ否ヲ詳審セシムル一千八百六十八
年ノ秋ニ至リ該委員ハ彼所決ヲ可トシ其英國ニ施ス可
キヲ報奏セリ

英國政治書抄訳商務院説畧

前篇ニ於テ商務院ノ漸次ニ委任ヲ受テ所ノ事
務ハ既ニ擧テ尽セリ今將ニ各案所任ノ事務ニ及
ハムトス

前既ニ言ヒシガ如ク一千八百六十七年更ニ本院
ノ課ヲ分テ六案ト為セリ其各任ナル所左ノ如シ
第一 商業雜務案 度量衡局此ニ属ス

本寮ハ外國若クハ植民地トノ貿易及航海條約ノ草擬ヲ
起シ先ニ之ニ関与スル事件ヲ整備シ又技術社彫刻、漆、模
模中等ヲ作板權賣品標号、会社、同夥等ニ係ル雜事等凡
ル他寮ノ任セザル所ノ貿易事件ヲ整備スルヲ掌トル
一千八百六十四年条例ヲ定立シ度量衡ハ十数昇降法ヲ

内務省

用ウレヲ許セリ是ヨリ先キ十数昇降法ヲ可トスル者
其定立ヲ望ムヲ既ニ久シ而シテ一千八百六十二年下院
ニ於テ委員ヲ撰ニ度量衡共一定ノ法ヲ制シ以テ独り内
國ノ貿易ヲ利スルノミナラズ亦以テ外國通商交際ヲ便
ニス可キ法熟考審案セシム委員ハ十数昇降法ヲ用ハガ
レハ度量衡ノ制一ナラザルヨリ生ズル所ノ大不便ヲ醫
ス可ラザレニ一決セリ是ニ於テ此條例ヲ定立スル未新
制ヲ用ウル為メ獨り英本國ニ於テ多ク力ヲ尽スノミナ
ラズ植民地藩屬國ニ於テモ亦然リトス
委員又度量衡局ヲ以テ商務院ニ屬シ以テ之ヲ保守信証
シ其検査人ヲ監督スル等總テ之ニ係ル事務ヲ擔當セシ
メシテ又該局ヲシテ時々便法ヲ設ケ以テ諸官衙
及ビ民間ニ十数昇降法ノ行ハル、ヲ助ケ其習知ヲ廣ク

心二

スルヲ免メシメシテ薦ノリ是ニ於テ一千八百六十
六年ノ條例ヲ立テ以テ本院中ニ度量衡局ヲ設ケ度量衡
監ノ官ヲ置キ其保監從來租稅院ニ屬セシ者ヲ擔當シ大
凡ソ新旧比較新制信証其他度量衡ニ係ル學術上ノ探究
ヲ助ケル等ノ事ハ本院ノ指揮ニ從テ之ヲ行ヒ其經行ス
ル所ノ事務ヲ議院ニ通知スル為メ之ヲ本院ニ報告ス
ルヲ以テ其職トス又時々定テ新旧ノ度量衡ヲ比較平均
スル方法モ同條例ノ定ムル所ナリ
尔來蒙長度量衡監兼攝シ此兼官アルカ為メ一年一
封度ノ増給ヲ得ル
一千八百六十七年歐洲二十ヶ國ヨリ委員ヲ出シテ巴里
府ニ會シ以テ度量衡及貨幣ノ事ヲ議シ遂ニ各國ニ勸メ
十数昇降法ヲ學ビ之ヲ用ハシメ其行ハル、一極テ廣キ

務省

ニ至ラントテ期スルニ一決セリ翌年議案ヲ議院ニ出シ
一千八百六十四年條例ノ是ラガ可ヲ補ハンコトヲ議ス蓋
シ六十四年條例ニ於テハ本院ラシテ十枚昇降ノ官制度
量衡ヲ作り以テ該條例ニ依テ用ウル所ノ新制度量衡ノ
精確ヲ保証セシムルノ事ヲ定メズシテ該條例ハ能ク切
ラ養セズ故ニ之ヲ加ルコトヲ議スルナリ又此議案ニハ年
限ヲ定メ之ヲ踰レ後ハ旧制ヲ廢シ專ラ新制ヲ用ウ可キ
方法ヲ定ム而シテ之ニ就キ議論頗ル時ヲ移セシ後遂ニ
五月十三日再次読会ヲ開ケリ然レニ議未ク決セズシテ
次年会期ニ讓レリ是時ニ方リ救撰ヲ以テ委員ヲ定メ波
各國會議ノ決セシ所ノ可否ヲ精考シ之ヲ英國ニ施行シ
得可キヤ否ヤヲ詳審セシム一千八百六十六年ノ秋ニ至
リ委員ハ波ノ所決ヲ可トシ其英ニ施行シ得可キヲ報英

三

セリ

第二 鐵道電信案

本案ハ鐵道及鐵道會社ヲ監察シ唯其原案ノミナラズ後
ノ管理ノ事モ亦之ヲ督ス初ノ一千八百四十年即「リ」
ト「リ」即位第三年四年條例第九十七章ニ依テ本院鐵道
ノ事ヲ管セリ後數年別ニ鐵道事務官ヲ置キ之ヲ掌ラシ
ム然レモ一千八百五十年官俸審查委員ノ建議ニ依リ又
此ノ事務官ヲ廢シ「ウ」キ「ト」リ「ヤ」即位第十四年十五年條
例六拾四章ニ依リ再ニ本院ノ任スル所トナリ其後「ヤ」
「ト」リ「ヤ」即位第三十一年三十二年條例第百十九章ニ從
ヒ更ニ本案ノ權限ヲ大ニス
一千八百四十五年本院又鐵道條例ノ議案ニ付テ豫メ之
ヲ審按スルノ任ヲ蒙リタリ然ルニ此ノ方法タルヤ其功

務省

効ヲ見ル能ハズ蓋シ本院官吏ノ公ニ其審按ニ從事スル
事ナク之ヲ主張スル者及之ニ及スル者ヨリ別々ニ差
出タシタル各種ノ方案及ヒ他ノ一黨ニ商量協議セザル
報告ヲ收領スルヲ以テナリ故ニ該官吏ノ報告ハ不公平
ノ處置アリト疑ヒ之ヲ信スル者無ク且ツ此ノ報告ヲ付
テ再議スルキ議事院委員ノ如モ亦該官吏ノ決セシモノ
ニ依ルヲ忌嫌スルニ至レリ是ヲ以テ此ノ方法ヲ廢シ軌
道ニ至ルニ及テ新制ノ不便タル弥甚シキニモ拘ハラズ
鐵道建設機關並ニ各般ノ審按委及テ議事院ニ於テ妥
算カ管掌スル所トナセリ

然リトモ本院尚ホ錢道條例ニ関シタル職務ナキニアレ
ル一十八百五十二年ヨリ同六十七年マテハ議事院ノ成
規ニ依リ鐵道溝渠若クハ海潮港灣ニ関シタル議案ハ本

院ヨリ之ヲ議事院報告スルノ任アリ此ノ報告ヲ為ス所
以ノ者ハ他ナシ其議案ニ関シ議事院通例ノ順序ヲ踐マ
ス或ハ集合條例^{コソツリテ}ニ依ラス若クハ成
法ヲ變シ又ハ新律ヲ立テ或ハ成規ニ及シテ施行スルア
ラニテ該委員ニ注意セシメカ為メノ抑此ノ職務
タルヤ議事院ニ於テ之ヲ擔當スルヲ以テ尤モ其當ヲ得
タリトスルカ如シ且之ヲ實際ニ徵スルニ議事院官吏ノ
内右ニ類似シタル職務ヲ以テ委託セラルタル者アリ故
ニ該報告ハ有益ノ用ヲ為ス能ハズシテ大率予之ヲ忽カ
セニシ加之ナラス其議案ヲ再議スルキ議事院委員スラ
之ヲ等閑ニ付スルヲ以テ今日ニ至テハ殆ント之ヲ廢セ
ントスルモ敢而怪ムニ足ラサルナリ

一十八百六十七年三月十四日下院ニ於テ自今錢道議案

ノ唯潮水及港口ニ関シ先キ一千八百六十二年港口讓渡條例
ニ從テ報告ス可キ者ニ限り本院ヨリ引續キテ報告ス可
シト決議シ若シ此ノ報告ノミニシテ不便ナルモノアレ
ハ下院ノ委員ハ本院ニ於テ之ヲ單定シタル官吏ノ出席
ヲ要シ其報告ノ疑フ可キ者ヲ諮問シ若クハ他ノ疑問ヲ
為スヲ得バシ但シ本院ノ職務ハ議院ニ報告ヲ送呈スル
コトニシテ其本職ヲ了リタル者トス上下兩院ノ定則ニ
依リ錢道條例ヲ設ケシトテ議院ニ出願スルハ議院
ニ於テ其議案ノ讀會ヲ開クニ先キ夕チ雛形等ヲ添エ其旨
子ヲ本院ニ通知セシム
又貿易ノ為メニ錢道ノ新線ヲ開カントスルニ際シテハ
先ツ之ヲ本院ニ通知セシメ本院ニ於テハ直チニ一名ノ
検査官ヲ派遣シ之ヲ視察セシメ其報告ヲ待テ此ノ開業

ヲ許可平常モ亦然リ若シ錢道線路ニ於テ變革アレハ直
チニ之ヲ本院ニ通知セシメ本院ハ例ニ依リ一名ノ検査
官ヲ派遣シ寫ト其事ヲ詢問シ該官ノ報告ヲ得レハ則チ本
院ハ人民一般ノ保護ヲシテ益々確實ナラシメニ力ヲ為メ
ニ其線路ニ於テ營業ノ方ヲ變換セシムルアリ
一千八百六十八年七月十三日ニ於テ上院ハ錢道ヲ以テ
衆客及貨物ヲ運搬スル現行ノ運賃ヲ増加セントスルノ
議案ハ本院ヨリ更ニ拾段ノ報告ヲ申呈スルニ非ラサレ
ハ第一讀會ヲ開クヲナク自今之ヲ以テ例規ト為ス可キ
ノ薦議ニ同意シタリ電信ニ關係シタル諸務モ亦本寮ニ
附屬ス

第三 海港并漁業寮

第四 航海并破船寮

該寮ハ兩ツナカテ甚ク重要ナル衙門ニシテモシ之ヲ合
併シテ航海ノ一寮ト為ス片ハ蓋シ本院通常事務ノ一半
ヲ占有スルニ至ル可シ今ヤ之ヲ分割シ別寮ト為シ加焉
ナラス會計寮モ亦分レテ別局トナレリ然ルニ此ノ變革
ハ一千八百六十七年一月本院ノ再立ニ基ヒシタルヲ以
テ茲ニ各寮關係ノ職務ヲ述ヘンニハ須ク變革以前ニ成
立セシ者ヲ概言シテ以テ足レリトス可シ

四クトリヤ即位第十七年同十八年商船條例百零四章及
二十五年同二十六年ニ増補改正シタル條例六十三章ニ
依リ高船及水手ニ関涉スル諸務ヲ惣監シ及ヒ歲入ニ干
リタル條例ヲ除キ該條例外之ニ類似シタル各條例ヲ実
行スルハ乃本院ノ職務タリ是ヲ以テ商船ニ從事スル船
長副船長ハ免狀ヲ付與シ領事ノ報告ヲ管理シ若クハ諸

二六

燈臺ヲ築造保持スルハ本院中其主務ノ各寮ニ授テ之ヲ
司トルニ至レリ

海潮ノ防禦船槽埠頭海口及水先案内ニ関スル布告ヲ發
行スル一高船水手貯金局閉店條例ヲ管理シ海上衝突及
其他難船ノ點檢ヲ管スル一或ハ保命船ノ看守海上及沿
岸ニ於テ人命及難船ヲ救護セシ者ノ報賞商船水手ノ賞
典死七シタル水手ノ給俸及遺產ヲ處辨シ或ハ英全國各
船長ノ報告ヲ調査シ海軍事務官ヲ輔ケ海兵隊備隊ヲ編
制監理スル等商船水手ニ関シタル諸事ハ悉ク本寮擔當
ノ事務タリ

第五 統計寮

本寮ノ起源ハ一千八百三十二年ニ在リ蓋當初之ヲ設立
セシ旨趣ハ只々本院ニ屬シタル事ニ限ラス全國一般ノ

統計ヲ掌トリ苟モ統計上ノ報告ニシテ政府ノ手ニ到ル者ハ尽ク之ヲ拾集シ一様ノ方ヲ以テ之ヲ編製刊行セシメントスルニ在リシナリ尔来此ノ意見ハ僅ニ其一半ヲ實行スルヲ得タルノミ且本寮ハ本院直管ノ一寮ナルヲ以テ其長官ハ細大トテク院長ノ令ヲ受可キナリ然ルニ實際ニ於テハ政府ノ各省各寮ヨリ統計上ノ報告ヲ得ント欲セハ直チニ本寮ノ長官ニ就テ之ヲ要求スルヲ常トス

本寮ハ首トシテ英全國會計農業貿易及世上一般ノ景況ヲ分類説明シタル統計表ヲ編製シ及ヒ外國ノ統計表ニ就テ最モ緊要ナル者ヲ抄出シ若クハ國內各地ニ於テ毎月印行スル貿易及航海ノ報告ヲ集輯スルニ在リ又外國ヨリ外務省ニ到達スル者ニシテ外國貿易ニ關係アルモノ

ハ該省ヨリ直チニ本院ニ通知セリ外國貿易ニ關係シ頗ル緊要ナル通信ハ常ニ外國駐留英領事官ヨリ外務省ニ送達ス

従来本院ハ外國駐留ノ領事官ト直チニ交通スルハ程規ノ許サハハル所ニシテ通信往復ノ文書等外務省ヲ經由セハル可ラズ然レモ近頃本院ヨリ薦議シタル改正案ヨリテ早晚准許ヲ得ルニ至ラシメハ此ノ制度ハ將ニ廢止セラル可シ

本寮ハ定期ニ発行スル頗ル尊重ナル報告ノ外常ニ一服ノ服公益ニ関シ立法官又ハ行政官カ必要トスルカ知テ兩議院其他統計上ノ報告ヲ編纂スルノ任アリ穀類報告官モ亦本寮ノ附屬タリ其職務タルヤ英國各市場ニ於テ賣捌キタル穀物平均相庭毎週ノ報告ヲ集輯シ之ヲ籠動カセツトナル新聞紙ニ掲載廣告スルニ在リ古

ハハ此ノ報告ニ依テ以テ課税ノ高ヲ定メタリシカ今日
ニ至リテモ尚ホ統計上若クハ其他ノ参考ニ供スルヲ以
テ頗ル有用タリ

本院ノ藏書館モ亦本寮ノ直轄ニシテ其壯大ナルヤ各省
藏書館ノ比ニアラズ故ニ該藏書館ハ偏ク各衙門ノ費用
スヘキモノニシテ本院カ使用スル所ハ僅ニ其一部ニテ
是レリト建議セシ者アリ

第六 會計寮

本寮ハ嘗テ航海寮ノ一局タリシヲ以テ其職務ハ已ニ航
海寮ノ部ニ於テ之ヲ畧述シタリ然レモ改正以來特ニ本
寮ニ屬シタル職掌ノ細目ノ如キハ載テ一千八百六十七
年本院ヨリ議事院ニ奉上セシ「ゴルニス」ボンテニス」ス書
七葉九葉ノ間ニ在リ

五八

○

抑本院ノ事務ヲ惣轄スルハ二名ノ書記官ニシテ院長ノ
批准ヲ以テ之ヲ分任シ一名ハ議事院ノ書記官一名ハ本
院ノ書記官ナリ輓近ニ至ルニ及テ院務大ニ繁劇ニ及ヒ
タルヲ以テ權書記官四名書記官輔三名ヲ要スルニ至レ
リ此ノ他官吏筆生ノ員頗ル多ク聞マ一科學ニ通曉スル者
アリ

今ヤ本院ノ概況ハ説盡レテ殆ント餘蘊ナキガ如シト虽
猶茲ニ一ノ登記ス可キモノアリ元象乃此レナリ初メ
該乃ハ航海寮ノ一局ナリレガ近歲ニ及テ本院ヨリ分離
ス元未該乃ノ起原ハ一千八百五十四年合衆國ノ海軍ニ
於テ高名ナル副艦長モーリー氏ガ英國海軍一等事務官
ナル官名惹迷斯スクラム氏ハ忠告セレニ基ヒレ其翌年始メ

事務官

テ之ヲ創立シ航海者水手及一般公益ノ為ニ欠ク可ラ
サル各般ノ実事及実験ヲ拾集印行シテ以テ人命ヲ保衛
スルノ用ヲ為セリ

諛局設立以来刊行レタル風雨預報ト及ヒ「天気前報」ニ
種ハ偏ク英國ノ沿岸ニ傳播シ人命ヲ助ケ貨財ヲ失ハサ
ル已ニ少小ニアラズ加之ナラズ諛局ニ後事スル人ノ勞
ニ頼リ氣象学ヲ实用シ益々之ヲ推究シテ以テ一層ノ鴻
益ヲ將來ニ預望スルヲ得ベシ

氣象学ハ已ニ「天気」ノ前見ヲ為シ毫モ差謬ナキ精微ニ達
センヤ否ヤホタ疑ナキヲ免レス然レ氏水師提督「フツロ
イ」氏カ諛局ヲ監督シテヨリ以来々々勉励此レニ後事セシ
ヲ以テ一千八百六十五年ニ於テ同氏カ悲酸ニ堪ヘガレ
ノ死ヲ致セシ時ニ至ルマテハ非常ノ公益アリレハ得テ

ユカ

擲作スヘカラズ且「フツロイ」氏ガ吾人航海ヲ生業トスル
者ノ為メニ英國ニ於テ創始シタル空気の顯象ヲ注視ス
ルノ法ハ爾未漸ク欧州大陸ニ行ハレ英國政府モ亦人類
ノ為メニ益々此ノ利益ヲ擴張シ且之ヲ永遠ニ傳ヘンニ
ハ如何ナル方法ニ依ラシカラ確知セント勞苦スルニ至
レリ

水師提督「フツロイ」氏カ死スルヤ政府ハ當時ノ氣象学
ニレテ「預報」ヲ印行セシメ之カ為メニ年々其費用ヲ辨ス
ルノ得失如何ヲ聞カレ「フツロイ」ヤ「ソサイケ」「學行會社」
ニ依リシ尚ホ諛局ノ起源ニ職掌今日マテニ成就セシ功
績ノ度及ヒ益々其用ヲ大ヒニスルニ緊要ナル改正等ヲ
熟議セシカ為メニ一團ノ委員ヲ命シタリ
諛委員ハ最モ尊重ス可キ報告ヲ申呈シ之ヲ忠告シテ曰

ク日々刊行スルノ天気ノ前見ハ概シテ之ヲ云ハハ精微
ニシテ今日ニ有用ナリト言ヒ難キヲ以テ之ヲ廢スルヲ
可トス曰ク風雨預報ノ發見ハ一層改良ノ法ヲ用ヒテ之
ヲ永續セシム可シ曰ク氣象上ノ現察ト其學術ヲ進捗セ
シメ及ヒ之ヲ實用セシムルカ爲メ該局ノ職掌ヲ擴張スバ
シト此ノ時ニ當リテ政府ニ宰相ノ更迭アリ故ヲ以テ一
千八百六十六年ノ國會ヲ了リシマテハ先ノ薦議ヲ以テ
以テ一輩ヲ施行スルヲナカリシ然ルニ新宰相ヲ以テ
候ノ大政ヲ執ルヤ速ニ此ノ薦議ニ注目セリ
翌一千八百六十七年ノ初メ於テ本院更ニ海軍省大藏
省ヲローヤルソサイチーニハ數回ノ往復ヲ歴
遂ニ布告スルニ政府ハ純然タル學術上ノ事
ヲ管理スルニ恰好セハルヲ覺リ更ニ氣象局ヲ以

テローヤルソサイチーニカ命シタル學術委員工引
ハ渡シ專ラ之ヲ管理セシムベキヲ以テセリ但シ
其委員ハ甘シテ各自ノ勤勞才カラ此ノ學術ニ費
ヤスヲ好ムモノニシテ海軍省ノ海圖工モ亦其社負タリ
是ニ於テ予諒委員ハ以前氣象局ニ於テ奉行シタル職務
ヲ委任セラレタリ其事務分ツテ三課トス第一海上ノ
統計表ヲ集輯スルヲ第二既往ノ天気ヲ報告スルヲ第三
英國ニ氣象觀視臺ヲ設クルヲ右ノ新局ハ全ク政府ト関
涉セサル者ト見做ナレ其委員ハ學術委員ノ命ニテ之ヲ管理
スル所タリ故ニ其委員ハ英王陛下ニ命セラレタル政府
ノ官吏ニアラズ退老ヲ許シテ俸銀ヲ与ヘ若クハ其局ヲ
廢スルヲマリ氏資金ヲ恰与スルヲナレト公告セリ然リ
而レテ其委員ヲ命スルハ則本院ノ允准ヲ受ケサル可ラ

ズ且諛局ノ経費ハ氣象上ノ觀察及經驗ヲ行ハシカ爲メ
ニ政府ノ依頼ニヨリ「ロイヤルソサイティ」ニ於テ命レタ
ル委員必要経費ノ名ヲ以テ政府ヨリ投票ニテ之ヲ仕拂
フナリ千八百六十八年同六十九年ノ定額ハ一万磅ナリ
暴風雨預報ノ如キハ極メテ精微ナラサレテ以テ一時全
ク之ヲ廢停セリ然ルニ英國各地ニ於テ航海ヲ業トスル
者及之ヲ業トスルモノ、爲メニ此ノ廢停ヲ非トシ痛ク
之ヲ諫諍スルモノアリ但此諫諍ニ係リタルモノハ學術
委員參觀ノ爲メニ諛局ヨリ常ニ
會セリ然ルニ諛局ハ猶將來ノ天気如何ヲ預告スルヲ欲
セズ僅ニ暴風雨預報ノ發行ヲ再始シタルノミ
天気ノ報告ハ引續キラ之ヲ發行ス且現ニ一ノ報告ヲ集
輯セリ此レ則早晚遂ニ天気ヲ預報スルニ確カナル現狀
ヲ設ク可キヲ預期スルニ足ルモノナリ

一千八百六十八年一月陸上氣象觀視基ヲ各地ニ設キレ
又他所ニ於テ大気ノ變動アルハ電信ヲ以テ之ヲ最要
ナル沿海ノ各港ニ通信スルヲ再辦セリ此ノ通信タル
マ目下只ニ現狀ヲ通知ノミナレトモ氣象上ノ前見漸々開
發進捗スルニ後テ此ノ業モ亦隨テ緊要ノ地歩ヲ在有ス
ルニ至ルハ期レテ待ツベレ又英佛兩國ノ間ニ於テ日々
氣象上ノ報告ヲ互ニ交換スルノ方ヲ設立セリ
次ニ掲書スル各局ハ議院ノ條例ニ依リ本院工付屬スル
者ナリ

水手記録惣局
合本會社記録局
模型局
亞尔加利製検査官

海底電線及錨網検査官

檸檬汁検査官

礪澳検査官

穀物報告検査官

右ノ各局ニ使用シタル人負及其俸給ノ如キハ千八百六十八年及九年間ニシテ、セルウキエスノ一トヨリ、各第九章十七葉十九葉ヲ參觀スベシ

英國勸商局職制抄譯 勸商局職制并事務章程

職制

長官

一名

年俸壹萬圓

壹萬圓ニシテ以テ
我五圓ニ當リ

大書記官

終身官

二名

各負年俸七千五百圓

本局中ノ事務ヲ提掌スル者ニシテ
乃チ我政府諸省ノ輔大書記官ニ同シ

大書記官

三名

日

九千五百圓

本局中議事院ニ關係スル事務ヲ
專掌ス

事務章程

第一条 海外通商ニ就テ條約交換ヲ管轄スル
第二条 揮琴飲料麥芽麥酒茶煙草等ニ就テ收税
ノ法令ヲ創製シ及ヒ之ヲ改正スルノ議

案ヲ立ツル

第三条 鐵道運河船渠場港津等ニ関スル法案ヲ

立テ及ヒ其利害等ヲ具申スル

第四条 凡商業又ハ天造及ヒ人造物等ニ就キ渾

テ國益アル事業ヲ勸奨スル

第五条 鐵道造管及ヒ漁車運轉等ノ事務ヲ管督

スル

第六條

海外渡航船ノ船將及ヒ海負技藝検査

規則ヲ制定シ并ニ水夫ノ名簿ヲ編製ス
ル

勸高局處務順序

○勸高局ハ各省ニ於テ發議セシ所ノ渾テ商業ニ

関スル事件ニ就テ議事院ノ裁決ヲ執ルニ當テ

殊ニ之ヲ管掌シ及ヒ諸般ノ職掌中事務ヲ施行

シ或ハ訴訟ヲ審判スルヲ兼務ス

○凡ソ内外通航ノ商船及ヒ旅客運送船并ニ海負

ニ関スル一切ノ事務ヲ專掌シ而シテ帆船汽船ヲ

検査シ及ヒ船長海負志願ノモノ、技藝ヲ試験

スル規則ヲ設立シテ之ヲ實驗シ及ヒ第スルモノ

ニ免許狀ヲ交付シ或ハ海負俸給ヲ要求スルニ

就テノ尋問又ハ訴訟及ヒ航海船々長ノ不練熟

又ハ不行跡等ヲ口實トシテ訴訟セシ公事ヲ審

判シ或ハ汽船汽罐等ノ航海ニ適スルヤ否ノ實

况又ハ船具等完備セシカヲ検査スル為メ役負
ヲ撰擧スルヲ等ヲ攝理ス

○鐵道造管ニ就キ地理ノ利害ヲ考勘シ架橋間道
ニ関スル一切ノ規則ヲ設定シ及ヒ其他鐵道
ヲ生スル一アレハ其事實ヲ吟味シ又ハ人民ノ
安康ニ付テ手當ヲ要スル一アレバ之ヲ支給ス
ルヲ等ヲ管掌ス

○諸會社名簿撰ヨリ届出ル所ノ該社中ノ名簿ヲ
編製保管ス○分局ニ於テハ租稅其他大小ノ商
業富有人口及ヒ人民ノ健康長壽經濟技術財產
實況ノ報告表ヲ蒐集シテ之ヲ編製スルヲ等
當ス且他ノ分局ニ於テハ穀物大麥小麥價唐穡ノ穀價

ヲ蒐集具備スルヲ掌ル

○右掲載スル通常事務ノ外唯内國通商ニ関スル
者ハ共同市場建家公債於テ商業ヲ取扱フモノ
所穀商會所穀商會所穀商會所穀商會所穀商會
會所及ヒ其他一般輸入品商會所穀商會所穀商會
日用諸器野菜其他日用ヲ管督ス尤是等ノ場
食料物等ノ市場ヲ依テ判決トス事院或ハ往方
所ハ國王ノ特權ニ依テ許可ノ上創造シタル
ヨリ因襲セシ慣習ニ依テ許可ノ上創造シタル
者トス其他造幣及ヒ度量衡等ニ關係スル規則
ヲ制定ス

量氣象局ハ始メ商務院ニ屬シタリト雖モ故アリテ現ハ
ハ「ロヤル、ソサイエテイ」ニ屬シ其事務ヲ分テテ三課ト為
シ一ニ晴雨報告ヲ發行スル事ニ洋海景況表ヲ製スル
事三ニ英國中觀象臺ヲ建ル事

外務省中ニ商務局アリ英國割駐ノ外國公使商務院政府
中ノ諸省商人高会ト文通ヲ往復スル事ヲ主ル又通商条
約談判ノ事ニ參與ス在外國領事官ト商事ニ関スル文書
ヲ往復ス

内務省

佛
國
工
部
省
職
制
章
程
全

工部省

工部省

工部省

以下
藤原
及
バス

佛
國
工
部
省
職
制
章
程
全

内
務
省

工
務
省

謹_テ勸_テ商_ノ局長_ニ白_ス台_命ヲ奉_シ佛_國工_部省_章程_譯
業_ニ従_事シ_テヨリ爾_來病_辱ニ付_キ自_ラ執_筆ス_レ能
ハス遷_延數_日速_成ノ功_{ナク}遺_憾極_リナシト雖_モ疾
ト些_レク瘡_ルニ及_ンテ復_タ人_ヲシ_テ筆_記セ_シムル
一_五六_日ニシ_テ今_日其_ノ業_ヲ卒_ル速_ニ此_ヲ謄_寫
付_シテ以_テ閣_下ノ一_覽ニ供_セントス
抑_モ此_章程_ハ尋_常ノ譯_書ト違_ヒ其_體裁_繁雜_ニシ_テ
大_ニ見_易ス_カラサ_レ處_{アリ}又_其人_名地_名等_ノ語
ハ譯_スル_モ其_益少_キヲ以_テ悉_皆之_レヲ省_畧セ_リ
是_レ則_チ工_部ノ役_負時_々變_換ス_ルカ故_{ナリ}然_リト
雖_モ彼_ノ國_工部_省ノ成_立ハ管_只原_書ニ倣_ヒ一_ツモ
其_ノ本_體及_ヒ順_序等_ヲ變_ヘス

又夕工部省役負ノ名稱ハ本邦ノ役負ニ比スレハ其
數最モ多クシテ國語ヲ以テ原意適當ノ語ヲ得ヘカ
ラス故ニ其意ヲ察シ其旨ヲ取り以テ簡短ノ譯語ヲ
付ス因テ往々不適當ノ官名アル可ケレハ恐ラクハ
達意ニ十分ナラサレテ以テ賢察ヲ願フ
以上二章ノ事項ハ固ヨリ管見區々ノ注目ナリト雖
且今茲ニ之ヲ上申シテ以テ備考ニ供ス而シテ萬一不
審ノ條目アルトキハ謹テ下問ヲ待ツ恐懼謹言

明治二十一年二月

鷗田貫次郎



勸商局長閣下

譯例標點

- ハ一部局ヲ指示スモノナリ
- ハ其部局ノ大別ナリ
- △ハ部局或ハ大部中ノ一部分ナリ
- ◇ハ原書ノ本文ニ係レルモノナリ
- ハ原書ノ注解ナリ
- ハ數部分アルトキ之ヲ用ユ
- 注ハ譯者ノ詳明ニカ、レルモノナリ
- 甲乙ハ△中ノ小別ヲ示スモノナリ

以上ノ標點ハ原文中目ヲ字格ノ體裁ニテ區別スル
モノナレド翻譯ノ和文ニ於テハ指行草以テスラ其

意ヲ寫出スヲ能ハサルガ故ニ止ラ得ス種々ノ標點
ヲ用ヒテ以テ其ノ體裁ニ換ユ

佛國工部省職制章程

○工部卿職制章程

國道縣道ヲ經營シ及二道ニ干涉スル政務ヲ擔當ス

但シ縣道ニ干係スル理財及會計ノ事務ハ內務省ニ附
任ス

河川通舟ノ事務ヲ管ス

河川及急流ノ堤防ヲ治ス

航溝堀割一切ヲ管治ス

人民共有ノ堀割ヲ管轄ス

河澳事務ヲ警備ス

通商淺港ノ土木ヲ治行ス

海岸燈臺一切ノ要務ヲ管轄ス

渡川舟楫ヲ奉行ス
農地改良事務。沼地埋填。清水樋一切ノ事務ヲ任ス
小流活道ノ警備ヲ司ル
河岸ニ設置アル製鉄所一般規則ヲ理行ス
鑛物製作所ヲ警察ス
鑛山保領及人民讓受一切ヲ管制ス
鑛山及石切山ヲ警察ス
鑛泉探領及ニ保護一切ノ事務
蒸氣器械安寧保護ノ制度一切ノ事
鐵道事務一切ノ事則チ鐵道製造ノ圖策及ニ其探究鐵道
建築事業ヲ督理スル事。鐵道會社ノ事業ヲ督理スル事。鐵
道營業監督ノ事
公共厦宇及殿堂ヲ制轄スル事

○ 卿局

局長 一人

其權限及職掌

公信開封ノ事。省卿ノ秘書取扱方

應接請求ノ事。事務ノ秘書取扱方

民撰議院ニテ議事セル諸文書ヲ蒐集登録スル事

○ 中央行政事務局

△ 本省書記局

書記總長 一員

其ノ職制章程

未翰ノ登記及分配ヲ管ス。往翰ノ遞送方

大統領及參議院へ差出ス公文ヲ蒐集スル事

公布及省令等ヲ受付ケ及之ヲ迴送シ又之ヲ國法簿へ登

録スル事

各省ノ布達及廻章ヲ保存スル事

本省内部ノ經費ヲ督理スル事

本省ノ官員ヲ統轄スル事

本省ノ捺印事務ヲ司ル

本省ノ注文取計事務

本省中央局ノ政務上印刷物ヲ管理スル事

橋梁局ニ干係スル一切ノ刊行事務ヲ司ル

省中各課ニ主務トシテ諸務ヲ辦理スル事

工部省附属ノ職工等へ救助金ヲ出スル事其諸務ニ任スベ

キ事

養老金貯蓄所へ月給ノ何割差引ニ付諸務ヲ施行スル事

公信免稅取扱方。省卿へ檢印請求之事及本局代理捺印

スル事

各局年度出納表ヲ蒐集スル事

金額受取方上申事務

△第一書記課 物品事務ヲ轄ス

課長一員

△第二書記課 文書事務ヲ轄ス

課長一員

○官員裁

裁長 一員

△第一吏部課

□拜命、昇進、轉官ノ三事ハ此課ニ屬ス

課長 一員

課長ノ職掌

本省中央政務局ノ吏員。

橋梁局及鑛山局ノ技術司及政務員。

海港在勤港長及屬員。

河川揚場及航河波戸場二種ノ監督官。

河漁警察事務官員。

鐵道行政ノ監察司。

國有殿堂監守。

常備會議所ノ輔官、理事官及事務官。

橋梁鑛山ニ學校ノ諸有司。

「セン、ラ、エ、ン、ス」(名地)ノ鑛山學校吏員。

「アレ」ノ鑛工職頭目實地學校吏部及其他

教官任命、見習技術司ノ等級、内外國人ノ外來生徒入學許

可等ナリ

但シ第一吏部課ニ於テ以上ノ吏員任命、昇進、轉官等

ヲ司ル

△第二吏部課

口官費、償金、褒金、扶助金、養老金、本省官吏ニ對セル訴

訟等ノ行政事務ヲ執行ス

課長 一員

課中入費規則ヲ設ケ及之ヲ制理ス

官員ノ巡廻出張、行旅ノ規則ヲ設立ス

褒美金及償金等ヲ管制ス

人民共有事業ニ于レタル技術司及委員等ニ給與スベキ

費用及謝勞規則ヲ議定スル事

人民ニ許與レタル鐵道及其他ノ業程ニ付検査及監督等

入賞ヲ會社ヨリ取立及之ヲ分賦スル事務
鑛山及橋梁學校、出納表ヲ精理シ其規矩ヲ設立スル事
官員雇員及其ノ寡婦孤獨ニ扶助ヲ給與スル事
退隱録ノ規則ヲ施行スル事
官員月給割引事務規則ヲ執行スル事

○出納摺

掛長 一頁

△第一課 本省會計事務課

省中會計一般ノ通規ヲ監治スル事
政府會計年度ノ計算ヲ辦理スル事
豫定算計ノ出入及景況一切ヲ整理スル事
前期會計年度ニ干涉セル勘定調及期滿流算事務ヲ調理

スル事

大藏省及統計院ト通信往復スル事務

二重常備ノ書類ヲ管理スル事

銘口扣帳一切ヲ統察スル事

月々出納合算事務

拂方命令及出張命令ヲ下達スル事務

縣令技術司及干係ノ諸方ヘ布令スル事

令詞ノ大意ヲ登録スル事及扣帳ノ合計取調方

通費ニ辨用スル金額ヲ入置クベキ本省ノ金匱ヲ管轄ス

ル事

△第二課 鑛山及橋梁二局會計課

課長 一頁

鑛山技術師及橋梁技術師ノ奉職上官金仕拂調書ヲ點檢

内務省

スル事

諸方使用金額分配事務

鑛山及橋梁二局ニ從屬スル諸員月給調書

試業褒美金ノ事ニ付布達ヲ草案スル事

受員人ヨリ差出ヌ所ノ積書ニ干係スル往復一切ノ事務

○地理圖書測量三事局

長官 (官位ハ一等技術師長)

次官 (同 二等技術師長)

課長 一員 (別ニ之アリ)

全國諸種ノ地圖ヲ改正シ出板シ及之ヲ頒賦スル事

地圖圖額、函圖一切ヲ製刊スル事

參謀所用戰圖上國內諸道ニ干係スル部分ニ限り校正

ル事及之ヲ道路技術司ニ分配スル事

全國航渠 (堀ノ割ヲ長大ナリ) 圖面ヲ刊行スル事

本省諸課ノ書類及圖面ヲ蒐集シテ書庫ニ藏貯シ及之

整頓スル事

書籍目錄編輯及其大意見出書ヲ編纂スル事

文書ヲ出紙シ及出板ノ簿書ヲ送附スル事

本部鐵道支線一切ノ繪圖ヲ草製スル事

○橋梁鐵道二局

二局總裁 一員

道路橋梁局

局長 一員

△第一 國道課

課長 一員

國道建築矯正及修繕

國道干係ノ橋梁建築及修理
國道ニ干涉スル部分ニ限リ大道律令及諸規則ヲ實行ス
ル事

國道干係ノ詞訟一切事務

△第二 縣道課 附陸路運搬警察 課長 一員

課長 一員

縣道建築、矯正及修繕

縣道干係ノ橋梁建築

縣道ニ連各スル郡邑ノ橋梁建築議案ヲ點檢スル事

縣道ニ干涉スル部分ニ限リ公道律令及規則ヲ實施スル

事

「^ロ「^ユ「^ヅ「^ブ「^ル「^グ「^レ「^マ「^ロ「^テ「^ガ「^ロ「^ヌ「^ラ「^ン「^ド」地方ノ農用

大道ニ付キ一切事務

草場沼道

縣道所管詞訟事件

國道縣道上陸運警察

大小府都村落ニ連絡スル國道縣道定線規則所管之事

國縣二道上鐵線馬車道設立一切之事務

○航船水路局

長官 一員

△第一課 海港及航渠

課長 一人

通商海港地改良及修繕事務

堤防土手建築及海中諸工事一切

公同工業施行之為ノ豪家組合ヲ編成スル事

山林伐木稟議案文ニ指令ヲ大藏卿ニ請求スル事

海岸地防禦方法及海岸燈臺事務

海邊燈臺、港燈、海上浮標、川岸引船土手等ヲ建設及修理スル事

内地及海邊航通渠河ニ干係スル事務

公用所用建物築造及修理

民有渠河ノ保護

〔巴里〕府食用物輻湊所揚場内諸口所管事務

通商海港及航行渠河ニ連絡セル水道律令及諸規則實行事務

以上ノ諸件ニ干係セル詞訟事務一切

△第二課 通航河川課

課長 一人

舟行河川ノ運路ヲ保存シ及ヒ之ヲ開良スル事

引船土手、岸墻、堰門、河堤、陸揚場及ヒ船附所等ヲ建築シ及ヒ之ヲ修理スル事

通運河川上、通舟規則ヲ設立シ及ヒ之ヲ改正スル事

河川及ヒ急流萬般ノ堤防事業ヲ司トル事、其ノ事業ヲ實行センカ為メニ取締會社ヲ編制スル事

渡船ヲ管理シ及ヒ其事務ヲ奉行スル事

通航河川上ニ關シ廻漕要路規則及ヒ其ノ成規ヲ現行スル事

以上ノ諸事務ニ關シタル詞訟ヲ取扱フ事

河漢一切ノ事務ヲ執行スル事、則チ通行河川及ヒ溝渠上、漁獵警察及ヒ其所業取締、但シ大洋漁獵ハ此限ニアラス

河川小流及ヒ池澤於テ養魚ノ術ヲ實施及管理スル事

ハ街本邦ニ多種ヲ保存シ及ニ之ヲ培養スル等ノ如キヲ又ニ其ノ産卵ヲ害セザル如キ等ノ其ノ少ヲ指ス

△第三課 水路課

課長 一人

不航不可浮ノ水流ヲ統轄スル事

右類ノ水流ヲ掃除シ之レニ新路ヲ與ヘ及ヒ具レノ事務ヲ主トル事

干沼一切ノ事務池澤及ヒ不健康地ヲ清浄ニスル事

真水運路一切ノ事務

以上ノ諸業興行マシカ為メニ發起會社ヲ編制スル事

製造所、民工場及ヒ民家所用ノ真水引方規則

市在ノ數區工真水引桶配置方ヲ研究スル事

全國農用水利改正一切ノ事務

佛國西部ノ塩澤改良法一切ノ事務

全國市在區村實益ニ関シ千八百六十年七月廿八日ノ律

例ヲ實行スル事

以上諸業ニ関シタル詞訟一切ノ事務

○鐵道局

局長 壹人

△第一課 鐵道考按及ヒ讓與課

課長 壹人

鐵道建築及ヒ運輸營業ノ二途ニ関シ諸事ヲ考按スル事

鐵道建築見込書ニ指令ヲ與フル事

鐵道讓與事務ニ関シ公文一切ヲ草案スル事

國家ニテ費用ヲ出シ建築スル鐵道一切ノ事務

國費ヲ以テ建築セル鐵道ニ関シタル訴訟一切ノ事務

△第二課 鐵道技術課

課長 壹人

民費建築鐵道造營一切

右鐵道ニ関レタル訴訟ヲ負擔スル事

技術分課事務簿ヲ遵行スル事

右鐵道造營中其利得ヲ保護スル事

鐵道營業扶助金一切ノ事務

○鐵道營業事務局

局長 壹人

△第一課 商業課

課長 壹人

接客商業管理

鐵道貨銀表ノ事

鐵道條約ノ事

鐵道營業規則ヲ頒行スル事

商利ヲ保護スル事

萬國鐵道條約ヲ取結フ事

△第二課 技術課

課長 壹人

營業セル鐵道警察及ヒ管理

鐵道局取締規則一切ノ事

運輸取扱規則鐵道用物品器械準備方一切ノ事

鐵道技器發明一切ノ事

○鐵道統表局

局長 壹人

技術師、鐵道監督及ヒ鐵道諸會社ヨリ差出ス所ノ統計公

書、蒐集スル事

全國鐵道諸會社營業諸表ヲ蒐集シ及ヒ之ヲ一書ニ編纂スル事

鐵道ニ關セル外國公文及ヒ通信ヲ保存スル事

鐵道ニ關セル諸表及ヒ緊要ノ文書ヲ世ニ公ニスル事

○鑛山寮

寮長 壹人

鑛山一切

鑛山關係蒸氣器械一切

鑛鑛所及ヒ鑛物製造所一切事務

鑛泉場一切事務

地質學關係スル地圖及鑛物所含山ノ圖面一切ノ事

△第一課 鑛山課

課長 壹人

鑛山ノ探偵事務及ヒ讓與允許一切ノ事務

地質研究及ヒ地心測量圖

鑛山、石切山、石炭山、砂炭山、及ヒ鑛物一切ニ付之ヲ管理スル事

鑛山開鑿及ヒ鑛鑛場ノ事業等ニ付組成セル無名會社ノ

成規ニ意見ヲ與フル事

鑛山職人ニ扶助金ヲ與フル事

鑛山用蒸氣船及ヒ蒸氣器械ヲ管轄スル事

△第二課 製鑛課

課長 壹人

鑛鑛場製鐵所、山塩製造所、海塩製場等ノ警察一切ノ事務

鑛物製造所就業子弟監督

鑛泉場ノ探偵及ヒ之ヲ他所ニ流通シ之ヲ保存スル事

地質學部及ヒ地中鑛物學ノ地圖

地質部及ヒ鑛物部諸見本蒐集一切ノ事務

鑛物ノ開折及ヒ鑛品ノ肥料分拆上ニ付舎密一切ノ事

鑛業關係ノ發明檢査

鑛山所得高取調方

鑛山年代紀

△鑛業統計局

局長 壹人

次官 壹人

諸鑛山、鑛鑛所、石切山、石炭山、砂炭山、及ヒ鑛山用諸器具、蒸氣船等ヨリ蒐集シタル諸公文ヲ以テ統計表ヲ編制スル事

海關稅州郡稅ノ鑛物ニ關係スル事件一切ニ付表冊ヲ編制スル事

鑛山部ニ關係セル諸事業一切ノ統計表

鑛山上利益報告ノ事

○公官保存局

局長 壹人

△第一課 民有館事務課

課長 壹人

民有館建築圖案研究及ヒ起草ノ事

民有建物粧飾ニ付美術ノ仕事ヲ詔治スル事

建築出納表ヲ起草スル事

律例草案ノ事

民有館設立地所買上ケ或ハ讓受或ハ賣却スル事

參議院ニ對シテ疑問ヲ辨解スル事

新築ノ經費及ヒ修理ノ用費ヲ允可スル事

建築實行及ヒ監督

民有居館ノ監督及ヒ築造師及ヒ事務官ヲ制治スル事

△第二課 國有館事務課

課長 壹人

國有殿堂及ヒ園圃ニ關係シタル事務ヲ研究シ及ヒ草案スル事

「ウエルサイユ」及ヒ「マルリ」ノ沸水池ニ關係シタル一切ノ事務

以上諸所ニ關シタル出納表及ヒ其規則ヲ編成スル事

右類ノ館堂等新築經費及ヒ修繕費ヲ許可スル事

新築事業ヲ實行シ及ヒ之ヲ管治スル事

右類ノ建物ニ所用ナル地所ヲ占得スル事

殿堂ニ關係シタル諸品一式ヲ買求メ及ヒ其ノ旧物ヲ沽却スル事

國有館主務ノ建築師監督及ヒ事務官取締ノ事

△第三課 會計課

課長 壹人

積書點檢及其ノ直段鑑定ノ事

役員給料受取渡ノ事

買物評價及ヒ見込書ヲ差出スル事

勘定書類ヲ整理スル事

諸經費拂方事務

償金及ヒ扶助金及ヒ褒美金ヲ與フル事

拂方勘定証書取纏メ置ク事

△第四課 検査課

課長 壹人

新築事業及ヒ修繕事業ニ關係セル入費帳及ヒ心見書ヲ
調理點檢認可スル事
受負人訴訟下調事務

○河漢監督

監督總長 壹人

○本省裁判掛

但シ千八百七十四年掛リ判官左ノ如シ氏名
ハ畧ス

某役名則チ參議院公事師破毀審院代官士兼工部訴訟掛
某役名則チ上等裁判所代官士兼工部訴訟司補官
某役名則チ上等裁判所代官士兼工部訴訟司傳

某役名則チ上等裁判所代官士兼工部訟庭掛
某役名則チ上等裁判所代官士兼工部訴訟取調掛
某役名則チ巴里上等裁判所代書師兼工部備判官
某役名則チ初等裁判所代書人兼工部辨訴掛
某役名則チ公訴師兼工部裁判掛役負

通計八員

○本省醫官

工部医官 壹員

同補官 壹員

通計貳員

○橋梁總會議局

工部卿 任議長

(一) 橋梁局、大書記官及ヒ課長又鐵道局、大書記官

内務省

記官及ヒ課長ハ此會議ノ常員タリ

〔二〕大事件ヲ議スル時ハ總員集會ス然ト雖此議
事ノ項目最大ナラズ又ク其生質總員ヲ要セ
サル時ハ總人數ノ集會ヲ止ム而ノ平常議員
ヲ二端ニ分テ一ヲ上等員トシ二ヲ下等員ト
ス故ニ上等部ノ管轄地ヨリ起リタル事項ヲ
議スル時ハ上部ノ議員ヲ集メ其事下等部管
轄地ニ属スル時ハ下部ノ議員ヲ集會セシム
△上部議員

副議長 壹人

議員 九人

△下部議員

第二副議長 壹人

議員 十五人

△橋梁總會議書記局

書記長官 壹人 但シ官位一等技術官長ニ在リ

書記某本官技術官長 國道州道掛橋部事務

書記ヲ務ム

書記某本官二等技術官長 航海海港及ヒ燈臺部ノ書

記ヲ務ム

書記某本官技術官長 水路事務ノ書記ヲ務ム

鐵道及縣道部ノ書記ヲ務ム

書記某本官技術官 通計書記四人

○鑛山會議局

工部卿 任議長

〔一〕鑛山寮ノ大書記官古會議局ノ常員タリ

〔三〕橋梁局及テ鐵道局ノ課長ハ鑛山會議場ニ出頭スルヲ得ヘシ但シ鐵道及テ橋梁ノ事項ニ付投議シ得ルヲ以テ其目的トス

△該局一等議員

副議長 壹人

委員 三人

△同二等議員

委員 四人

同局書記官 一人其本官ハ二等技術官長

○國有館會議所

〔一〕國有館會議ノ議長ハ工部卿之ニ任ス而ノ工部卿不在ノ節アラハ工部一等大書記官（本邦ノ工部大輔ニ當ル）之ニ代ル

〔三〕工部卿及ヒ工部一等大書記官俱ニ不在ナル時ハ工部卿ノ特命ニ因テ工部監督總長其任ニ當ル

△常備議員

副議長 壹人

委員 四人

但シ以上五人ハ文部督學士ニシテ工部ノ總監督ヲ兼テ此ノ會議ノ永久議員ニ任セラレタルモノナリ

△臨時議員

議員 四人

但シ以上四人ハ其本官築造師ニシテ此ノ任ニ當レリ然レモ永久常備ノ議員ニアラス

△侍聽人

外
談員 二人

但シ議事ニ關係アル客員此ニ坐ス

△書記撰

本會書記一人其ノ本官工部少書記官

本會書記一人其ノ本官工部署查官

○鐵道中央議事局

〔一〕談議事局ノ議長ハ工部卿之ヲ主トル卿不在ノ

時ハ道路橋梁及ハ鐵道二局ノ一等大書記官或

ハ政務課長之ニ代ル

〔二〕鐵道局ノ營業事務長官及ハ建築事務長官議事

局ニ出席シテ顧問ニ任ス各々主務ノ事項ニ限

リテ答議スルニ限ル但シ答議權アリ

△鐵道中央會議局議員

內務省政務課總長兼參議一人

陸軍省代議員三人

但シ將官一人佐官一人會計長官一人

參議兼大藏大輔一人

驛逋總裁一人

大藏省出納事務總長一人

農商務省大書記官一人

巴里府通商會議所頭取一人

橋梁堤防總監督二人

鑛山寮總監督一人

鐵道局總監督五人

技術官長兼橋梁大書記官一人

技術管長兼鑛山局大書記官一人
該會議局書記官其本官參議院上申課長一人
○ 鐵道規則取調事務局
議長一人

△ 議員

鑛山總監督 本局委員
同兼鑛山學校教師 同
鑛山總監督二名 同
橋梁總監督四名 同
鑛山監督 同
橋梁監督 同
橋梁監督 本局書記官

通計議員十人書記官一人

○ 癸明物科議事局

橋梁學校長 議長
全學校監督兼教官 委員
橋梁技術師書記官

通計三名

○ 燈臺議事局

議長 工部卿之任

△ 議員

海軍水師提督兼理部督學局學士副議長
司天臺兼理部督學局學士
橋梁總監督兼燈臺政務長
橋梁總監督
全兼海軍水術總監督

海軍副提督二名

海軍技術總監督

海軍水路技術長

橋梁總監督兼燈臺事務官

議事局書記官

通計議員十人

○ 蕙茂器械中央議事局

工部大監察官兼鑛山議事局副議長

當議事局議長

橋梁總監督二名

工部監兼鑛山學校教官三名

蕙茂器械製造司

海軍省造船大師

大鉄道運轉指揮長官

工藝學校長官

橋梁學校教官兼技術師長

鑛山技術師

上申狀

鑛山技術師書記官

○ 橋梁局ノ部

○ 橋梁總監督

〔一〕橋梁總監督ノ官負テ分ツテ二部トス第一部門ハ
 工部本省ニ勤務シ全國橋梁事務ヲ總轄ス第二
 部ハ本省中ニテ事務ヲ主トルヲアリト雖モ多
 シ全國橋梁大區管轄内ヲ巡廻シ或ハ一時此
 ニ在勤シ地方ノ事務ヲ突檢シテ事ヲ本省ニ通
 暢スルヲ以テ異ナリトス其他地方限リ在勤ノ
 常備橋梁技ヲ置テ具ノ委細左ノ如シ

△本省付一等總監督ノ部

役員十一名

△全二等総監督ノ部

役員二十六名

△一地方担当總監督ノ部

但シ此ノ總監督ハ分レテ十六區タリ一區ニ總監督一人ヲ置キ數縣ヲ直轄セシム其區内ニアル工部事務ハ當ニ橋梁堤防ノミナラス凡ソ公共土木ノ事業ハ之ヲ監督ス

一第一監督區

工部總監督一人

(一)區域ハ五縣ニ涉ル區中ノ工部事務一切ヲ監督又縣名ハ畧ス下皆之ニ順ス

(二)持區特別土木事務ヲ監理ス則チ「セ工」又大河ヲ管治ス○巴里府ノ諸橋及河第二部第三部第四部ノ堤防○「セエ」アシヘリウル縣ノ通商河港○持区内ノ鐵道修理監督○巴里府ノ郭壘鐵道本線ト他縣ノ支線ト関係事業一切其他區域内ノ鐵道造営修理一切ヲ監督ス

二第二監督區

工部總監督一人

(一)區域ハ五縣ニ涉ル區中ノ工部事務一切ヲ監督ス
(二)持區特別土木事務ヲ監理ス則チ特別事務ハ凡ソ二十五種アリ「事業ノ銘目」ハ

各々殊ナリト虽モ一々之レヲ拳ルモ益ナレ故ニ畧ス餘之ニ順ス

三 第三監督區

工部總監督一人

一 管轄區域六縣ナリ

二 特別土木事務則チ十一件ナリ(細目之ヲ畧ス前言ノ如シ)

四 第四監督區

工部總監督一人

一 管轄區域五縣ナリ

二 特別土木事務則チ十二件ナリ

五 第五監督區

工部總監督一人

一 管轄區域五縣ナリ
二 特別土木事務則チ十二件ナリ

六 第六監督區

工部總監督一人

一 管轄區域六縣ナリ

二 特別土木事務則チ七件ナリ

七 第七監督區

工部總監督一人

一 管轄區域五縣ナリ

二 特別土木事務則チ十三件ナリ

八 第八監督區

工部總監督一人

一 管轄區域五縣ナリ

二特別土木事務則十三件ナリ
九第九監督區

工部總監督一人

一管轄區域六縣ナリ
二特別土木事務則十件ナリ
十第十監督區

工部總監督一人

一管轄區域五縣ナリ
二特別土木事務則十二件ナリ
十一第十一監督區

工部總監督一人

一管轄區域六縣ナリ
二特別土木事務則十八件ナリ

十二第十二監督區

工部總監督一人

一管轄區域五縣ナリ
二特別土木事務則十五件ナリ
十三第十三監督區

工部總監督一人

一管轄區域六縣ナリ
二特別土木事務則十一件ナリ
十四第十四監督區

工部總監督一人

一管轄區域六縣ナリ
二特別土木事務則九件ナリ
十五第十五監督區

工部總監督一人

(一)管轄區域五縣ナリ

(二)特別土木事務則チ六件ナリ

天第十六監督區

工部總監督一人

(一)管轄區域五縣ナリ

(二)特別土木事務則チ八件ナリ

△地方在勤橋梁官負

橋梁技術師長

通計八十七員

但シ地方在勤橋梁官タルモノハ技術師長ニシテ
土木一切ノ事務ヲ指揮ス各縣ニ一員ヲ置ク縣内
其在留地ハ固ヨリ定マリテ今此ニ人名及ヒ其
滞在地名ヲ畧ス

○水路事務局

(一)此ノ局ハ其主務ヲ四項トス曰ク干沼曰ク水道
曰ク海岸砂瀆豫防曰ク水力製造場之レナリ

技術師長一名(コウレール)府滞在

コウトガロス、タルン、アリエジエ、三縣ヲ管轄ス

技術師長一名(モンマリエ)府在留

ハロル、ガル、ロード、三地方ヲ管轄ス

技術師一名(アルレアンス)府滞在

コワレ、シエル、ゴハレ、シエル、三地方ヲ管轄ス

○水路事務局在留官々々以上ノ九地方ヲ除ク
外他縣ニアリテハ尽ク航流水利事務及ヒ水
路ノ常務ヲ兼テ前文ノ四項ハ其ノ本務ナリ

○水路局付川筋概

技術官二十三名

大河小川合セテ十八流ヲ管轄ス各負ノ居住地各々具事務ノ辨義ニ從テ全国各地ノ河邊遊傍ノ都府ニアリ其河川筋ニ關係スル科目數多アリテ且リ各河ノ大小ニ應シテ異同アルカ故ニ一々之レヲ詳ニセス之レ彼國ノ辨利ニ從テ具居所及ヒ人貧配布ヲ定メタルモナレハ本邦ノ為メニハ蛇足ニ屬ス故ニ今左ニ一例ヲ引テ具ノ全豹ヲ窺ハシム

例

佛國大河「ロハアール」

(此河筋ノ事務ヲ分リテ四項トナス其主務ノ技術師三負トス)

△第一項「ロハアール」河ノ下流土木事務

但シ右ノ部分ハ工部本省定務ニ屬ス故ニ特別委員ヲ置カス

△第二項「ロハアール」河筋「ロハン」又府ヨリ「アリヤル」堀口マテノ一部「ロハアール」河横切り堀割「ロハン」スヨリ「レゴア」マテノ堀割「ロハアール」河ノ此ノ部分近傍六縣ニ管スル河道事務以上四目ナリ

右技術長一官ニ委任ス

△第三項「ロハアール」河ノ「アリヤル」堀口ヨリ「トント」府ノ大橋マテノ部分事務「此ノ部分内ノ横切堀ニ關スル事務」此ノ部分ノ水路閑良特別事務

右三目ハ他ノ技術官之ヲ擔當ス

△第四項「ロハアール」河ノ「ロハアール」河筋上四部分則チ

ノリマエロケル及ヒロハアールアンハリエルニ縣ノ
境界ヨリパンボイフ府マテナル河道事務〇ロハア
ル河道事務^ト及ヒパンボイフノ二都内ニアル諸港
口事務〇以上二目ナリ

右、特別委員技術官此二目ヲ總理ス

〇水路局舟堀割裁

水部技術官十五名

(一) 該官ハ各々各地ニ在留シテ堀割ニ関係スル事
務ヲ主トル佛國ニテ堀割ノ通スル地全国ニ散
布シ或ハ五六縣ニ跨リ或ハ七八縣ニ渉ルモノ
アリテ各負各々其一部ノ工業ヲ担当ス各負具
辦理ニ從テ諸方ニ公在スルヲ前述ノ河吊裁ノ
委員ニ同シ故ニ又其委細ヲゴハニ畧ス

〇海工事務裁

擔當委員水理技術官十九名

(一) 此ノ水理委員ハ工部ノ技術官ニシテ各々沿海
諸港或ハ海岸堤防ノ工業ヲ担当シ各地ニ公在
ス其ノ總負ノ担当スル全国ノ地方ハ然テ沿海
ニシテ十五縣ニ跨ル而レテ其ノ指揮スル所ノ
事業沿海諸道及ヒ海港ニ関シ數多アリト云テ
今之ヲ詳ニスルニ違アラズ

〇錦道會社ニ関係スル所ノ技術工業監督役負

技術長官兼鐵道監督三十八員

(一) 佛蘭西全國ニ散布セル私立鐵道會社所有ノ鐵
道本支合セテ數十筋アリ今茲ニ鐵道ノ名目ヲ
掲ケス又其監督委員ノ姓名ヲ載セズ

(二) 右技術監督ハ各々一会社所有ノ線ヲ監督シ具
工業ニ関スル部分ヲ監督ス故ニ各負具所轄地
ノ弁理ニ從テ適裁ノ地方ニ在勤シ而シテ其ノ
鐵道ノ本支大小ニ從テ一会社ニ或ハ一線ニ技
術師一員ヲ置キ或ハ數員ヲ置ク

○鐵道接客事務取扱ヒ取締派出官負

(佛蘭西全國ノ鐵道線ハ本支ヲ合シ之
ヲ大別シテ四部トス曰ク北部線曰ク
西部線曰ク東部線曰ク南部線是レナ
リ而シテ其他大線二道アリ是レ則チ南
北中央ニ涉ルモノニシテ一ヲ巴里首
府ヨリ「パレローユ」ニ跨ル大線ト云ヒ又一
ヲ「ラレアン」ニ府ノ大線ト云フ其二者固ヨリ

大鐵道ニシテ全國中東西南北ノ縱横ニ
走リ其里程頗ル長レ因テ前文ノ四部中
ニ連絡スルカ故ニ今特別ニ之ヲ分ツ

○北部本支鐵道掛

鐵道技術總監一名

△鐵道本線掛

甲本線技術掛

技術師八名

乙鐵道商業接客事務監督

鐵道監督官三名

△支線掛

甲支線技術掛

技術師三名

乙商業接客事務監督
鐵道監督官一名

○西部本支鐵道掛

鐵道技術總監一名

△西部鐵道掛

甲本線技術掛

技術師九名

乙商業接客事務監督

鐵道監督官四名

△第一支線掛

甲支線技術師

技術師二名

乙商業接客事務監督

鐵道監督官一名

△第二支線掛

甲支線技術掛

技術師二名

乙商業接客事務監督

鐵道監督官二名

○東部鐵道掛

鐵道技術總監一名

△鐵道掛

甲技術掛

技術師八名

乙商業接客事務監督

鐵道監督官三名

(注) 東部ハ其他ノ三部ト殊ナリ此部ニ
前述ノ巴里府大鉄道線及ヒ「ラ」レ「ア」ニ、
大鉄道ニ線ヲ含ム此ノ部ハ重モニ二大
線ノ本部ニ当ルヲ以テ其線南西ニ渉ル
ト虽モ工部管轄ノ例規於テハ之レヲ東
部ノ擔当ト定ム故ニ東部中ニアル鉄道
支線ヲ尽ク此ノ二大鉄道ニ附属シタル
モノト見做シ其ノ管轄ノ順序ヲ立ツル
「左」ノ如シ)

○「ラ」レ「ア」ニ鉄道本線及ヒ支線
鉄道技術總監一名

△「ラ」レ「ア」ニ大線鉄道掛

甲 本線技術掛

技術師十六名

乙 商業接客事務監督

鉄道監督官七名

△ 第一支線掛

甲 支線技術掛

技術師一名

乙 商業接客事務監督

鉄道監督官三名

△ 第二支線掛

甲 支線技術掛

技術師一名

乙 商業接客事務監督

鉄道監督官三名

内務省

○巴里府大鐵道本支諸線
鐵道技術總監一名

甲本支技術員

〔注〕此大鐵道ノ部ハ本線支線ノ區分
他ト殊ナル所アリ故ニ本支ヲ區別
セズメ然別技術師ヲ分ツテ五組合
トス一組合ニ一長アリ左ニ詳ナリ

△第一組合

技術長官一名

技術師五名

△第二組合

技術長官一名

技術師六名

△第三組合

技術長官一名

技術師八名

△第四組合

技術長官一名

技術師二名

△第五組合

技術長官一名

技術師二名

乙鑄造商業接客事務監督

鐵道監督官七名

○南部鐵道本線及七支線

鐵道技術總監一名

△南部鐵道掛

甲本線技術掛

技術師十一名

乙商業接客事務監督

鐵道監督官四名

△第一支線掛

甲支線技術掛

技術師二名

乙商業接客事務監督

鐵道監督官四名

△第二支線掛

甲支線技術掛

技術師一名

乙商業接客事務監督

鐵道監督官二名

○五軍港及ヒ殖民地水理工業事務局

〔一〕工部章程中之ヨリ以下ハ上ト違ヒ各々特立

ノ一局ヲ為スモノニモ其管轄ヲ工部卿ヨリ
受ク而ノ具局ト本省ト關係尤モ大ナレ且固
ヨリ具事務タルヤ本省ノ本部ノニニ限ルモ
ノニアラス故ニ之ヲ工部ノ支局ト名ツク

〔二〕五軍港及ヒ殖民地水理工業事務局ハ元来工

業土木術ニ練達レタル技術師數名ヲ以テ成
立スルモノナリト雖且該局ノ本務ハ海軍殖
民省ニ附屬スルモノナレハ具事務ノ差圖ハ
海軍省ニアリ然レ且任官及ヒ具役負ハ工部

御ノ管轄タリ

〔三〕注謂所軍港トハ一種ノ海港ニシテ茲ニ造船

所海軍用器製作所武庫司造兵司等海陸軍ニ

關係シタル諸衙廳アル處ナリ故ニ是レヲ軍

港ト云フ佛國ニハ特別ニ之ヲ定メテ北ヲ所

ヲ置ク南海ニ一所北海ニ一所西海ニ三ヶ所

アリ

工部本官一等總監督兼水理工業大監督 壹人

工部本官技術師長兼水理副監督 壹人

△北港殖民在留水理技術師

軍港プレスト在留工部技術師長 貳名

同「」エルブール在留工部一等技術師 一名

同「」リアン在留工部技術師長 一名

同「」レエホル在留工部技術師長 一名

同「」ロロシ在留工部技術師長 一名

殖民地交趾（中印度支那）在留技術師並 一名

△亞非利加洲佛國屬地鎮守府在勤

二等總監督兼屬地水理總監督。屬地派出水理官負長官

水理土木屬地派出負本官工部技術師長大負。隨各負屬地

各府ニ在勤ス

○佛國大都巴里府下土木局

〔注〕該局ハ分テ二課トス

△第一課府下大工業事務局

〔一〕此ノ課ノ事業ハ凡ソ六トス曰ク公道建

築修理曰ク公園地及ニ其ノ樹木栽培曰ク

ク大廈公立美術事業曰ク築造事業曰ク

公道曰、府下図面

府下工部総長其ノ本官工部省二等総監督兼巴理工業事務長官兼口ノ又縣工業事務総長一人

甲△公道掛

工部技術師長二名

乙△府下公園及ヒ植樹事務掛

工部技術師長一名

△第二課水江樋及ヒ悪水所分課

課長本官工部二等総監督

工部技術師長二名

悪水試験事務掛本官工部二等総監督一名

○橋梁堤防國立學校

一 此、橋梁堤防學校ハ一千七百四十一年ノ創

立ニ係リ千八百九十一年十月十三日ノ法例

ニ因テ新タニ其規模ヲ宏大ニセリ其間變革

一ナラス就中千七百九十一年正月十七日同

十月二十二日千八百四十四年八月二十四日ノ三

大變革ハ殊ニ此ノ學校ニ大改革ヲ與ヘリ結

極變革アル毎ニ益々善美ニ趣ケリ其ノ今日

ノ有様ハ國中諸般ノ學校ニ比スレハ國立中

ノ優等ナルモノナリ該校ハ工部卿ノ直轄ニ

關ルト虫氏日常學校總長一切ノ事務ヲ辦理

ス其總長ニ次クモノ學官アリ校監アリ學校

參事アリ餘ハ皆ナ具ノ僚屬ナリ

二 此ノ學校ノ特別ナル目途タルヤ國家ニ最モ

有用ナル橋梁堤防技術官ヲ養育スルモノナ

右學校ニ入ルモノハ技術大學校ノ專門科
 ヲ經歷シタルモノニ限ル毎年技術大學校ノ
 生徒ヨリ拔擢シテ一條ノ試験ヲ遂ケ其幼者
 ヲ撰シテ之ヲ入ル而メ嚴格ノ成規ニ合當セ
 サルモノハ科業優等ナリト雖ヒ及第ヲ許ル
 サス其外校外ニ實地經驗場アリ内外人民ノ
 通學生徒ヲ茲ニ未學ヲ許ヌ又々工科ノ講議
 アリ此ノ傍聽モ亦然リ而メ入學規則ハ工部
 省千八百五十二年二月十八日ノ省議決定書
 ヲ見ルヘシ

三

工科講議及ヒ修學科程左ノ如シ

一 器械學

三 水理學

三 鑛山學

四 地質學

四 道路修築學

六 橋梁建築學

五 鐵道建築學付同營業法

八 治河學及埤渠學

九 水中建築學及ヒ港
口建築術

田 河道建築學

五 行政法大意

三 經濟學及統計學

三 鐵道蒸氣器械學及
ヒ鐵路製法

四 干沼學水道學及ヒ通水學

五 英學

六 獨逸學

四 學校圖書及ヒ見本ノ諸模型ハ常ニ鑑覽ヲ許
 不且ヒ橋梁堤防技術師同技術見習及ヒ本校
 ノ内外生徒ニ限ル

△本校監督

本校督長本官工部一等總監督 一員
學校監督本官工部技術師長 一員

△教員

本官技術師長	教授學科	道路學
同 元工部總監督 <small>(滿期非役)</small>	同	橋梁學
同 技術師並	同	鐵道學
同 技術師長	同	概河學
同 技術師長	同	水中工學
同 技術師並	同	建築學
同 技術師長二員	同	器械實用學
同 鑛山技術師長	同	鑛山學及地質學
同 技術師長	同	蒸氣器械學鐵

同 技術師長	同	道運車實用學
同 技術師長二員	同	農用水理學
同 又部督學博士	同	工部實用舍密學
同 參議院議事課長	同	經濟學
同 參議院建白課長 <small>(知傳教官)</small>	同	行政學
同 陸軍大佐	同	同斷
普通教師	同	築城學
同上	同	習字學
同上	同	圖學
同上	同	獨逸語學
同上	同	英國語學

通計教官二十一名

△屬官

外科醫師一人

内科醫師一人

學校書記官一人

通計屬官三名

○工部技術官員

〔一〕工部技術官ヲ分ツテ五等トス一ニ曰一等技术

術總監ニニ曰二等技术術總監三ニ曰一等技术

師長四ニ曰二等技术師長五ニ曰一等技术師

並

一等技术總監拾一名

二等技术總監二十六名

一等技术師長八十五名

二等技术師長百拾五名

一等技术師並百八拾八名

通計四百貳拾五名

○鑛山部

○鑛山監督

鑛山一等技术監督七名

鑛山二等技术監督八名

右本省勤務役員

○地方鑛山監督

△西北部監督

鑛山一等技术監督一名 西北三十縣鑛山地方ヲ監督ス

△東北監督

鑛山二等技术監督一名 東北十二縣鑛山地方ヲ監督ス

△中部監督

鑛山二等總監督一名 中部二十二縣鑛山地地方ヲ監督ス

△東南部監督

鑛山二等總監督一名 東南十二縣鑛山地地方ヲ監督ス

△西南部監督

鑛山二等總監督一名 西南十四縣鑛山地地方ヲ監督ス

○地方鑛山技術官員

(一)地方鑛山技術役員ハ之ヲ分テ四組トナス

一組ニ一長アリ之ヲ技術監察長ト名ツク

△西北部鑛山工業

鑛山技術監察長一名

技術師長四名

通計五員

右一組ハ二十一縣中鑛山地ノ工業ヲ司トル

△東北部鑛山工業

鑛山二等監察長一名

技術師長三名

通計四員

右一組ハ十五縣中鑛山地ノ工業ヲ司トル

△中部鑛山工業

鑛山技術二等監察長一名

技術師長四名

通計五員

右一組ハ二十二縣中鑛山地ノ工業ヲ司トル

△東南部鑛山工業

鑛山技術二等監察長一名

技術師長三名

通計四員

右一組ハ十五縣中鑛山地ノ工業ヲ司トル

△西南部鑛山工業

鑛山技術二等監察長一名

技術師長三名

通計四名

右一組ハ十四縣中鑛山地ノ工業ヲ司トル

○鑛山特別事務官

技術師長一名 「サリヌ」縣ニ在ル鑛山蒸氣器械特別監督

技術師長一名 「巴里府」石切山特別監督

技術師長一名 「ハエカン」府ノ石切山事業特別監督

技術師長一名 「サルト」ノ石炭山繪圖面掛

技術師長一名 「バランシヤ」ノ石炭山測量掛

一等技術師一名 「ヨートン」石炭山測量掛

技術師長一名 「ヨートン」石炭山近傍地質研究

一等技術師一名 又部理學博士一名 全國地質圖面編製

技術師長一名 亞非利加洲佛國屬地鑛山事務掛

○國立鑛山學校

〔一〕國立鑛山學校ハ工部卿ノ直轄ヲ受ケ學校ニ

校長一名ヲ置キ成立スル所ノモノニシテ其

目的ニ項アリ第一國用鑛山司ヲ成養スルヲ

第二鑛業關係諸學術ヲ有衆ニ教授スルヲ之

レナク然レモ其他又タ鑛山事業ノ私立社及

ニ鑛物製造所ヲ進步セシムル為メノ實學士

ヲ成養セントテ左ノ三項ヲ付加ス一ニ曰學

校ニ一大場ヲ設ケ佛蘭西全國諸縣及ヒ殖民
屬國ノ鑛山統計表ヲ明ラカニスル目的ヲ以
テ之レニ切要ナル萬種ノ圖書及ヒ器械ヲ蒐
集シ及ヒ之レヲ敷區ニ排列スルヲニ曰博
物文庫ヲ置キ鑛業一切ニ關スル圖書ヲ集メ
而シテ鑛山地及ヒ鑛山製鐵所ノ進步ヲ速ニシ
及ヒ右一切ニ關係スル理學ヲ研究セシメシ
トテ其要具ヲ公衆ニ縱覽セシムル事三ニ曰
官私ノ為メ鑛物工業進步ヲ補翼スルニ分拆
試験場ヲ置クハ是レナリ

二 此學校ノ生徒ヲ分ツテ三段トス曰ク技術生
徒曰ク通學生徒曰ク外國生徒之レナリ第一
生徒ハ技術大學校ノ生徒ニシテ優等ナルモ

ノヨリ之ヲ撰舉シ將未鑛山司ヲ以テ國家ニ
奉職スヘキ人物ヲ取ル第二生徒ハ該校ニ於
テ用ユル學科ノ聽問ヲ許サル其卒業ノ期ニ
及テ十分學問ヲ成就セルヤ否ヤヲ試験セル
後ニテ鑛山營業及ヒ鑛物製造所ヲ支配スル
ニ合格ノ學力アルヲ官ニテ公布ス而シテ
其レカ為ニ尚卒業有力免許證ヲ其本人ニ與
ヘラルヘシ第三生徒ハ固ヨリ外國人ナレハ
通學或ハ校住ニ掲ラス其本國全權公使或ハ
代理公使申立ニ依リ工部卿ノ特許ヲ得ルニ
アラハレハ入學スベカラス

三 鑛物學地質學人獸化石學ノ講議ハ毎年十一
月十五日ヨリ四月十五日マテヲ限リ數人ヲ

レテ之ヲ聞カレム

四 當校附屬ノ圖書館ハ日曜祭日ヲ除ノ外毎日
十時ヨリ三時マテ開キ以テ衆人ヲレテ來觀
セシム尚又外國人及ヒ鑛學ヲ研究セント欲
スル有志ノ輩ハ特別免許ヲ得テ一層自由雜
覽ヲ許サル

五 鑛物試驗ヲ願出ス者ハ總テ學校ノ書記官ニ
其ノ鑛物ヲ付交スヘシ願書ニハ試驗スヘキ
鑛物ノ産出所ヲ詳記スヘシ斯ノ手數ヲ經テ
ル以上ハ本校ノ試驗掛リニ於テ懇説ニ具理
由ヲ本人ニ示シ得ラルヘキ尤モ試驗ヲ遂ク
以テ全國鑛物工業ノ進歩ヲ補翼スヘシ
六 此ノ學校ニラズル所ノ試驗事務及ヒ講義器

械雜覽圖書雜覽等總テ世ノ中ノ辨益ニナル
ベキモノナレハ其ノ入費ヲ乞ハス

△學校行政事務

學校長一名其本官鑛山一等總監督兼文部理學部博士
一等技術師兼鑛山學校監察官

△教官部

教官具本官理學博士工部一等總監督 教授學科鑛物學

同上 二名 同 地質學

同 工部二等總監督 同 鑛山器

械學付

營業法

同 工部一等總監督 同 製鐵學

同 技術師 同 分拆學

同

二等技術師

同

鑛山用

同

技術師長

同

鑛山律

同上

同

法學

同上

農學付

同上

干沼法

同

陸軍大佐

同

及水道

語學教師

同

法

同

人獸化

同

石學

同

築城法

同上

△實地研究差圖役

同

英語學

本官技術師

實驗學科

舍密實驗

同上

同

測量圖面實驗

同上

同

實地繪圖列

保存官二名

△工業關係ノ蒐集掛

△通學生特別教員

本官技術師

學科

分析學及器械學

同上

同

幾何學及其實地

同上

同

究理學

同上

同

舍密學

△鑛物試驗局

技術師兼試驗官二名

△學校屬員

醫師一名

書記官一名

◎ センラフナエニ区ノ鑛山實地學校

校長一名本官技術師

△教官

技術師一名

教科 鑛物學及地質學

同

同 舎密學及鑛學

同

同 器械學付鑛山器械實地取扱法

○ 鑛山頭目職二學校

〔一〕 此學校ハ鑛山地區「アレ」ニテリ工部技

術長ニテ監督ス

學校監督本官技術師一名

〔三〕 學校體裁ハ前述ノ「センラフナエ」ニ区ノ鑛

山學校ニ類ス故ニ餘ハ之ヲ畧ス

○ 鑛山技術監督及技術師

〔二〕 鑛山技術監督ハ分レテ五等トナル左ノ如シ

鑛山一等總監督六名

同二等總監督八名

同一等技術長拾二名

同二等技術長拾六名

同 一等技術並三拾六名

◎ 通商海港警察及監督官

〔一〕 此官ハ總テ海軍技術師ヨリ成ル之レヲ港長

士官ト通称ス其職掌港口ニ関涉スル一切ノ
事務ヲ檢監ス然レモ固^リ前^述ノ工部水中
工業技術師ノ^寮寮属タリ而メ全國各地ニ分散
シ此ノ工部技術師ノ在留スル港ハ一トシテ
此ノ寮属ノ付属セハル所ナシ然レモ今茲ニ
其ノ在留地名ヲ贅記セズ

校長士官總人數五十五名

△内地河港監察官

河港大監察一名

〔一〕此ノ監察官ハ全國ニ數員アリ分ツテ二等ト
ス一等ハ海軍技術師ノ指令ヲ受テ之レ航海
監察ニ関スレハナリ故ニ海軍省ノ直轄ヲ受
レニヨリ此ノ章程ニハ之レヲ載マズ然リト

茲又他ノ一等ノ港内通商事務ノ點ヨリ差起
リタル港口工業事務ニ関スルヲ以テ工部省
ノ分局タル獨立ノ一局ヲ置ク因テ茲ニ各地
在勤長官ヲ載ス

各地在留河港監察長七名

〔一〕^注餘ハ皆ナ此監察長ノ寮属タリ

◎國有官有殿堂大廈

○工部省保存局築造師及工部省管轄國有殿
堂官衙及書院

〔一〕左ニ記載スル所ノ殿堂ハ工部省ノ管轄ニ
シテ營繕修理一切ヲ主ル而メ左ノ建築師
ハ工部省ノ官吏タリ其ノ受持ノ建物ハ或
ハ一院一庫或ハ一院二三四庫ナルモアリ

○工部直轄ノ建物

常任建築師

天文臺

將^家厦^子進大紀^{急標}年表

工部建築師某一頁

上等師範學校

訓育院

同上

國有鑛山學校

佛國大學校

マシジエ子ピエ^ノ寺院

圖画學校

マシジエ子ピエ^ノ文庫

ヲデヲ^レノ劇場

破毀裁判所

文部督學院

務

古王^代四世^理碑

美術館

橋梁學校

海軍技術學校

工部省(建館)

商務省(建館)

内務省(建館)

海軍省(建館)

司法省(建館)

文部省(建館)

外務省(建館)

盲人學校

病兵院

同

同

同

同

同

同

同

同

同

務

大理石室藏

寶物藏

軍門

那波列翁塔

千重塔

工業館

第十四世路易王廟

大劇場

歷代寶物藏

音樂保存局

工藝保存館

サンマルタシ大門

セングエーシ大門

同

同

同

同

同

同

國有文庫

第十四世路易王紀年像

國有圖書館

博物館

軍書文庫

第十三世路易王紀年像

七月政府顛覆紀年塔

癩狂病院

馬醫學校

旧王家殿堂

歷代博物館

國有殿堂

天皇居

同

同

同

同

同

同

同

同

同

元至居

大政府（建初）

トリヤノニ殿堂

ラシブアイニ大城

ホレエヌヲロニ殿堂

コンペーギニ殿堂

センザルマニ大城付具周圍一圍同

ホニ大城

カニクルニ大城

マルメーソニ大城

ウドニ大城

陶器製造所

羅紗製造所

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

ホーベニ大製造所

軍馬局

リミン馬医學校

ツウルーゴ馬医學校

イヤルカニ工職學校

アンザルニ工職學校

エーキニ工職學校

センテツケエニニ鑛山學校同

聲高院（ホルドニ府）同

ニヤンベリニ聲高院同

養老院

ロロギ英勞像

尺度礎器保存局（全國通計一掛然造師十六員）同

○國有殿堂諸附屬家兵保士
事務局

大總監一名
取締監督官二十五名

工部省章程六尾

八四完

